

27-A-3 支持療法の開発および検証のための基盤整備

内富 庸介

国立がん研究センター中央病院支持療法開発部門

**研究の分類・属性**

後期開発・支持療法分野

**研究の概要**

症状緩和を目的とする薬物療法、外科治療、放射線治療、IVR、鍼灸、リンパ浮腫複合療法、がんリハビリテーション、カウンセリング法、コミュニケーションなどの支持療法は、様々な形で施行されているものの、未だエビデンスが不十分である。特に、進行・終末期の症状緩和に関する医学的介入や薬物療法の開発は世界的にも取り組みからして不十分であり、疼痛、嘔吐、倦怠感、しびれ、味覚障害、不眠、重度うつ・不安、せん妄などに対する対応は、ガイドラインはあるものの経験則に基づくものが多く、エビデンスによる裏打ちは甚だ脆弱である。これら症状緩和を含む支持療法全般についてエビデンスに基づく標準的治療を確立することは、先進国としてのわが国の責務と考えられるが、現状は、支持療法の臨床試験を実施する体制が整っていない、各症状評価を含むQOL評価法が確立されていない、定時観測が可能な全国レベルのQOL疫学研究体制が不十分であるなど多くの問題を抱えている。

よって、本研究では、世界的にも取り組みが不十分な支持療法について、開発を行うとともにこれを検証し、エビデンスに基づいた標準的な支持療法を確立するための研究基盤を整備する。具体的には、新規支持療法の開発につなげる活動を行う領域Ⅰ、侵襲を伴う標準医学的介入を確立する領域Ⅱ（狭義の支持療法と緩和ケア）、軽微な侵襲あるいは侵襲のない心理社会・行動介入を確立する領域Ⅲ、臨床研究評価の方法論を扱う領域Ⅳ、そして、実態把握及び研究成果の導入・普及を検討する領域Ⅴの5つの専門領域グループ、ならびに中央支援機構、監査・管理機構を有する研究組織を立ち上げ、具体的な研究活動を通じて、研究組織としての充実を図る。

**研究経費**

年 度	研究経費
平成 27 年度	11,469 千円
平成 27 年度繰越	6,985 千円
平成 28 年度	7,937 千円
平成 28 年度繰越	9,054 千円
平成 29 年度	20,329 千円
総 計	55,774 千円

**研究班の組織**

研究者名	所属研究機関名・部局名 ・部科名・職名	分担研究課題名
内富 庸介 (研究代表者)	国立がん研究センター支持療法 開発部門	支持療法の開発および検証のための基盤整備 の総括

全田 貞幹 (H29. 4. 1から)	国立がん研究センター東病院	支持療法の開発および検証のための基盤整備の総括
木澤 義之	神戸大学大学院医学研究科	支持療法の開発および検証のための基盤整備の総括
朴 成和	国立がん研究センター中央病院 消化管内科	支持療法の開発および検証のための基盤整備の総括
明智 龍男	名古屋市立大学大学院医学研究科	支持療法の開発および検証のための基盤整備の総括
松岡 豊	国立がん研究センター社会と健康研究センター	支持療法の開発および検証のための基盤整備の総括
宮下 光令	東北大学大学院医学系研究科	支持療法の開発および検証のための基盤整備の総括

## 研究の目的と到達目標及び実績要点

### 全期間

#### (目的と到達目標)

本研究班は、支持療法開発を通して患者・家族の療養生活及びQOLの維持・向上に貢献することをミッションに、世界的に取り組み難い支持療法の開発および検証を行う支持療法研究グループの基盤整備を目的とする。支持療法研究グループは大きく分けて、研究実施主体、中央支援機構、監査・管理機構の3要素から構成される。研究実施主体は、新規支持療法の開発につなげる活動を行う領域Ⅰ、侵襲を伴う標準医学的介入を確立する領域Ⅱ（狭義の支持療法と緩和ケア）、軽微な侵襲あるいは侵襲のない心理社会・行動介入を確立する領域Ⅲ、臨床研究評価の方法論を扱う領域Ⅳ、そして、実態把握及び研究成果の導入・普及を検討する領域Ⅴという5つの専門領域別グループから構成される。

中央支援機構および監査・管理機構は、研究実施主体による臨床試験が戦略的・効率的・科学的・倫理的に立案・計画され、試験参加患者の安全性と人権を保護しつつ、円滑に実施されるための基盤を提供する。各要素における到達目標は以下の通りである。

#### 【研究実施主体】

領域Ⅰ（新規支持療法の開発）

First in human 試験につなげる活動を行う。

領域Ⅱ（医学的介入：支持療法・緩和ケア）及び領域Ⅲ（心理社会・行動介入）

最低3つの臨床試験を終了する

領域Ⅳ（方法論）

標準的QOL尺度を提言する

領域Ⅴ（実態把握・普及）

支持療法のニーズを定時観測して把握する

#### 【中央支援機構】

- 1) 多施設臨床試験体制の整備・維持
- 2) 有益な支持療法開発に資する定時観測体制の整備・維持
- 3) プロトコル立案・作成の相談、データセンター（統計解析・データマネジメント）の調整

#### 【監査・管理機構】

1. プロトコル審査機能、効果・安全性評価機能、データモニタリング機能、監査機能の整備・維持
2. 若手研究者に対する教育研修および研究支援体制の整備・維持

#### （研究終了時点の実績要点）

- ・ 支持療法研究グループの基盤として研究実施主体、中央支援機構、監査・管理機構を構築・整備した。
- ・ 研究実施主体：5つの専門領域別グループを構成し、総計9件の臨床研究について支援した。  
（支持療法3件・緩和ケア1件の臨床試験について登録中、研究相談は8件）
- ・ 中央支援機構：試験審査・運営手続きを整備し計画書確定前からプロジェクトマネジメントを実施した。  
また Web 広報・メールマガジン配信を行った。
- ・ 監査・管理機構：研究に関するポリシーを作成し、審査やデータモニタリングを行った。  
また若手研究者に対する教育研修を実施した。

## 研究方法

### 【研究実施主体】

#### 領域Ⅰ（新規支持療法の開発）

1. 支持療法の First in Human 試験につなげる活動を行う。

#### 領域Ⅱ（医学的介入：支持療法・緩和ケア）及び領域Ⅲ（心理社会・行動介入）

1. 専門領域グループ参加施設の責任者間で連携を取り、新たな支持療法を開発する。
2. 多施設臨床試験体制を用いて、開発された支持療法の探索試験および検証試験を立案・計画・実施する。

#### 領域Ⅳ（方法論）

1. 標的症状や QOL を信頼性・妥当性の担保された方法で測定するための評価法開発を行う。

#### 領域Ⅴ（実態把握・普及）

1. 有益な支持療法開発に資する定時観測体制を用いて、全国規模での患者・家族の QOL についての疫学研究を立案・計画・実施する。
2. がん登録情報、電子カルテ情報、レセプト・DPC 情報、患者・家族のアウトカムデータの相互連結データベースを用いた疫学研究を立案・計画・実施する
3. 解析した情報を開示して拠点病院、都道府県単位での患者の QOL に関する PDCA サイクルを構築する。
4. 各種データベースから得られた Big Data を各領域の stakeholder と共有・公開してデータマイニングを行い、支持療法やサポートプログラムの成果や新たな課題を抽出する。

### 【中央支援機構】

1. 専門領域別研究グループの責任者間で、各専門領域別グループで取り組むべき課題の明確化、多施設臨床試験実施体制のためのネットワーク構築、多施設登録体制のためのネットワーク構築、有益な支持療法開発に資する定時観測体制のためのネットワーク構築、若手研究者の教育・支援体制について情報共有を行うための連絡会議を年1~2回開催する。
2. 早期からのプロトコル立案・作成のコンサルテーション、中央病院臨床研究支援部門データ管理室（支持療法担当）においてデータマネジメント支援を受ける際の調整、統計解析の支援、研究の進捗管理、スケジュール管理を行う。
3. 先駆的な活動を行っている国外の支持療法に関する臨床試験グループ（PoCoG: Psycho-Oncology Cooperative Research Group 等）を視察し、プロトコル審査やプロトコルコンセプト・ディヴェロップメントワークショップに参加し、中央支援機構の運営について情報収集する。

### 【監査・管理機構】

1. プロトコル審査機能、効果・安全性評価機能、データモニタリング機能、監査機能について外部委託を含めて運営する。

2. 若手研究者に対する教育研修および研究支援体制の一環として、医学系研究方法論、生物統計、データマネジメント、プロトコルライティング等についてのセミナーを開催する。

## 研究成果と考察

### 全期間（研究終了時）

- ・支持療法研究グループの基盤として研究実施主体、中央支援機構、監査・管理機構を構築・整備した。
- ・研究実施主体：5つの専門領域別グループを構成し、総計9件の臨床研究について支援した。  
（支持療法3件・緩和ケア1件の臨床試験について登録中。研究相談は8件。）
- ・中央支援機構：手続きについて整備し試験開始前からプロジェクトマネジメントを実施した。  
またWeb広報・メールマガジン配信を行った。
- ・監査・管理機構：研究に関するポリシーを作成し、審査やデータモニタリングを行った。  
また若手研究者に対する教育研修を実施した。

本研究班は、支持療法開発を通して患者・家族の療養生活及びQOLの維持・向上に貢献することをミッションに、世界的に取り組み難い支持療法の開発および検証を行う支持療法研究グループの基盤整備を目的として活動を行った。はじめに、研究実施主体、中央支援機構、監査・管理機構の3要素を構築し整備した。

#### 【研究実施主体】

研究実施主体は新規支持療法の開発につなげる領域Ⅰ、侵襲を伴う標準医学的介入を確立する領域Ⅱ（狭義の支持療法と緩和ケア）、軽微な侵襲あるいは侵襲のない心理社会・行動介入・サバイバーシップケアを確立する領域Ⅲ、臨床研究評価の方法論を扱う領域Ⅳ、そして、実態把握及び研究成果の導入・普及を検討する領域Ⅴという5つの専門領域別グループから構成した。各領域の目標達成状況は下表1の通りである。

表1 各領域の目標と終了時の状況

	目標	終了時
領域Ⅰ 新規開発	First in human 試験につなげる活動を行う。	口内炎研究に着手。
領域Ⅱ 支持療法・緩和ケア	最低3つの臨床試験を終了する。	現在4試験登録中。※
領域Ⅲ 心理社会的ケア・サバイバーシップケア		現在1試験登録準備中。※
領域Ⅳ 研究方法論	標準的QOL尺度を提言する。	症状別推奨評価の選定に着手。
領域Ⅴ 実態把握・普及	支持療法のニーズを定時観測して把握する。	観察研究を実施中である。

※実施研究詳細は表2に示す。

#### 【中央支援機構】

多施設臨床試験体制の整備を行い、実際の臨床試験遂行の中で整備と維持を行った。さらに、有益な支持療法開発に資する定時観測体制の整備に着手した。

また研究コンサルテーションを通じてプロトコル立案・作成の相談、データセンター（統計解析・データマネジメント）の調整を行った。

さらに、日本語版および英語版のホームページ、Facebook ページを運営し臨床試験計画・実施に役立つ情報の発信やJ-SUPPORT 関連の学術活動やメディア掲載の紹介など、広報活動を継続した。

#### 【監査・管理機構】

プロトコル審査機能、効果・安全性評価機能、データモニタリング機能、監査機能の整備として、支持療法の課題と目標に関する基本ポリシーとプライバシーポリシーを作成し、現在専門家へのレビューならびに改訂作業に着手した段階である。

またJ-SUPPORT 執行委員会として研究実施主体、中央支援機構、監査・管理機構を構築した。監査に関しては実際の臨床試験における運用に向けて、規定や手順書の準備を進めた。

また研究プロトコル審査の手続きを整備し、総計9件の臨床研究を承認した。1試験は終了し、4試験は患者登録中、4試験は登録準備中である。詳細を表2, 3に示す。

さらに、教育研修委員会を設立し、平成30年1月12-13日に若手研究者に対し、研究計画の基礎や実際のプロトコルの書き方、試験運営に関する教育研修を行った。

表2 J-SUPPORT 承認試験 (2018年3月31日現在)

J-SUPPORT (試験)									
承認 No	試験名	主任研究者	領域	状況	施設数	資金	EDC	UMIN	IRB
1602	頭頸部がん放射線治療患者に発生する放射線皮膚炎に対する通常処置とステロイド外用薬を加えた処置に関するランダム化第3相比較試験	全田貞幹 (NCC東)	II a: 支持	2017/6/23 ～登録中 (70/210)	10	民間	REDCap	2017/5/1 UMIN0000 27161	2017/4/24
1603	進行がん患者に対するスクリーニングを組み合わせた看護師主導による治療早期からの専門的緩和ケア介入プログラムの臨床的有用性を検証する無作為比較試験	松本禎久 (NCC東)	II b: 緩和	2017/1/23 ～登録中 (85/206)	2	AMED	REDCap	2017/1/4 UMIN0000 25491	2016/12/8
1604	シスプラチンを含む高度嘔吐性化学療法による化学療法誘発性悪心・嘔吐の予防に対する標準制吐療法+オランザピン5mgの有効性・安全性を検証する二重盲検プラセボ対照第3相ランダム化比	安部正和 (県立静岡がんセンター) 橋本浩伸 (NCC中央)	II a: 支持	2017/2/9～ 登録中 (551/690)	30	AMED	Inform	2016/11/1 UMIN0000 24676	2017/1/17
1605	がん患者の周術期精神症状に対する抑肝散の効果に関するランダム化比較試験	清水研 (NCC中央) 和田佐保 (NCC中央)	II a: 支持	2017/8/14 ～登録中 (153/220)	1	受託	EPS	2017/6/4 UMIN0000 27561	2017/7/31
1701	マルチキナーゼ阻害薬の手足症候群に対するハイドロコロイドドレッシング使用による予防効果の検討	柳朝子 (NCC中央)	II a: 支持	準備中 (-/30)	1	民間	Viedoc		
1703	乳がん患者の再発不安・恐怖に対するスマートフォン問題解決療法および行動活性化療法の有効性-無作為比較試験	明智龍男 (名古屋市立大学)	III: 心理社会	準備中 (-/444)	10	AMED	Accelight	2018/3/1 UMIN0000 31140	2018/1/15
1704	急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為比較試験	藤森麻衣子 (NCC社健センター)	III: 心理社会	準備中 (Pt: -/16) (Dr: -)	4	AMED	Viedoc	依頼中	
J-SUPPORT (研究)									
1601	今後の見通しについての医師からの望ましい説明に関する研究	森雅紀 (聖隷三方原病院) 藤森麻衣子 (NCC社健センター)	III: 心理社会	2017/5/24 研究終了 (105/105)	1	厚労科研	Access	-----	2016/7/28
1702	医療費支払いデータベースを用いた国レベルの緩和医療の質の評価方法の開発と測定	佐藤一樹 (名古屋大学)	V: 実態把握	準備中	-----	AMED		-----	

### 倫理面への配慮

本研究班は「ヘルシンキ宣言」と平成27年4月1日より施行される「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の関連法規やガイドラインを遵守する。研究実施主体による臨床試験の症例登録に際しては、参加施設の施設倫理審査委員会の承認を必須とし、患者には説明文書を用いて十分な説明を行い、同意を文章によって取得する。また、直接個人が識別できる情報を用いない、データベースのセキュリティを確保するなど、個人情報漏洩の危険を最小限にする努力を最大限行うことで個人情報保護を厳守する。科学的妥当性の担保された研究のみ実施し、研究期間を最小化するなどして試験参加による不利益を最小化する。プロトコール審査委員会、独立データモニタリング委員会、監査委員会等による第三者的監視を行うことで研究の科学性と倫理性を担保する。

### 本研究に関連する、本研究期間中の主な発表論文等

#### 研究開始以前のもので特記すべきもの

##### (雑誌論文)

- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記載されているもの  
該当なし
- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記載はないが、関連するもの
  1. Fujimori M, Uchitomi Y, et al: Effect of communication skills training program for oncologists based on patient preferences for communication when receiving bad news: a randomized control trial. J Clin Oncol 32(20): 2166-2172, 2014
  2. Shibayama O, Uchitomi Y, et al: Association between adjuvant regional radiotherapy and cognitive function in breast cancer patients treated with conservation therapy. Cancer Med 3(3) : 702-709, 2014.
  3. Terada S, Uchitomi Y, et al: Development and evaluation of a short version of the quality of life questionnaire for dementia. Int Psychogeriatr 27(1):103-110, 2015.
  4. Morita T, Uchitomi Y, et al: Nurse Education Program on Meaninglessness in Terminally Ill Cancer Patients: A Randomized Controlled Study of a Novel Two-Day Workshop. J Palliat Med 17(12):1298-1305, 2014

5. Fujimori M, Uchitomi Y: Reply to B. Gyawali et al. *J Clin Oncol* 2015.33(2):223-224.
6. Kondo K, Fujimori M, Shirai Y, Yamada Y, Ogawa A, Hizawa N, Uchitomi Y. : Characteristics associated with empathic behavior in Japanese oncologists. *Patient Educ Couns.* 93:350-353,2013.
7. Fujimori M, Shirai Y, Asai M, Akizuki N, Katsumata N, Kubota K, Uchitomi Y. : Development and preliminary evaluation of communication skills training program for oncologists based on patient preferences for communicating bad news. *Palliat Support Care.* 4:1-8,2013.
8. Nakaya N, Saito-Nakaya K, Bidstrup PE, Dalton SO, Frederiksen K, Würtzen H, Steding-Jessen M, Uchitomi Y, : Frisch M, Johansen C.:All-cause mortality among men whose cohabiting partner has been diagnosed with cancer.*Epidemiology.* 24:96-99,2013.
9. Asai M, Akizuki N, Fujimori M, Shimizu K, Ogawa A, Matsui Y, Akechi T, Itoh K, Ikeda M, Hayashi R, Kinoshita T, Ohtsu A, Nagai K, Kinoshita H, Uchitomi Y. : Impaired mental health among the bereaved spouses of cancer patients. *Psychooncology.* 22:995-1001,2013.
10. Terada S, Oshima E, Yokota O, Ikeda C, Nagao S, Takeda N, Sasaki K, Uchitomi Y. : Person-centered care and quality of life of patients with dementia in long-term care facilities.*Psychiatry Res.* 205:103-108,2013.
11. Inagaki M, Akechi T, Okuyama T, Sugawara Y, Kinoshita H, Shima Y, Terao K, Mitsunaga S, Ochiai A, Uchitomi Y. : Associations of interleukin-6 with vegetative but not affective depressive symptoms in terminally ill cancer patients. *Support Care Cancer.* 21:2097-2106,2013.
12. Hayashi S, Terada S, Nagao S, Ikeda C, Shindo A, Oshima E, Yokota O, Uchitomi Y. : Burden of caregivers for patients with mild cognitive impairment in Japan. *Int Psychogeriatr.* 25:1357-1363,2013.
13. Akechi T, Miyashita M, Morita T, Okuyama T, Sakamoto M, Sagawa R, Uchitomi Y. : Good death in elderly adults with cancer in Japan based on perspectives of the general population. *J Am Geriatr Soc.* 60:271-276,2012.
14. Ogawa A, Nouno J, Shirai Y, Shibayama O, Kondo K, Yokoo M, Takei H, Koga H, Fujisawa D, Shimizu K, Uchitomi Y. : Availability of psychiatric consultation-liaison services as an integral component of palliative care programs at Japanese cancer hospitals. *Jpn J Clin Oncol.* 42:42-52,2012.
15. Shirai Y, Fujimori M, Ogawa A, Yamada Y, Nishiwaki Y, Ohtsu A, Uchitomi Y.: Patients' perception of the usefulness of a question prompt sheet for advanced cancer patients when deciding the initial treatment: a randomized, controlled trial. *Psychooncology.* 21:706-713,2012.
16. Shimizu K, Nakaya N, Saito-Nakaya K, Akechi T, Yamada Y, Fujimori M, Ogawa A, Fujisawa D, Goto K, Iwasaki M, Tsugane S, Uchitomi Y. : Clinical biopsychosocial risk factors for depression in lung cancer patients: a comprehensive analysis using data from the Lung Cancer Database Project. *Ann Oncol.* 23:1973-9,2012.
17. Saito-Nakaya K, Bidstrup PE, Nakaya N, Frederiksen K, Dalton SO, Uchitomi Y, Verkasalo P, Koskenvuo M, Pukkala E, Kaprio J, Johansen C. Stress and survival after cancer: a prospective study of a Finnish population-based cohort. *Cancer Epidemiol.* 36:230-235,2012.
18. Oshima E, Terada S, Sato S, Ikeda C, Nagao S, Takeda N, Honda H, Yokota O, Uchitomi Y. : Frontal assessment battery and brain perfusion imaging in Alzheimer's disease. *Int Psychogeriatr.* 24:994-1001,2012.
19. Ishida M, Onishi H, Matsubara M, Tada Y, Ito H, Narabayashi M, Sasaki Y, Nomura S, Uchitomi Y. : Psychological Distress of the Bereaved Seeking Medical Counseling at a Cancer Center.*Jpn J Clin Oncol.* 42:506-12,2012.
20. Yamaguchi T, Morita T, Shinjo T, Inoue S, Takigawa C, Aruga E, Tani K, Hara T, Tamura Y, Suga A, Adachi S, Katayama H, Osaka I, Saito Y, Nakajima N, Higashiguchi T, Hayashi T, Okabe T, Kohara H, Tamaki T, Chinone Y, Aragane H, Kanai Y, Tokura N, Yamaguchi T, Asada T, Uchitomi Y.: Effect of parenteral hydration therapy based on the Japanese national clinical guideline on quality of life, discomfort, and symptom intensity in patients with advanced cancer. *J Pain Symptom Manage.* 43:1001-1012,2012.
21. Asai M, Akizuki N, Fujimori M, Matsui Y, Itoh K, Ikeda M, Hayashi R, Kinoshita T, Ohtsu A, Nagai K, Kinoshita H, Uchitomi Y. : Psychological states and coping strategies after bereavement among spouses of cancer patients: a quantitative study in Japan. *Support Care Cancer.* 20:3189-3203,2012.
22. Fang CK, Chen HW, Chiang IT, Chen CC, Liao JF, Su TP, Tung CY, Uchitomi Y, Hwang JJ.: Mirtazapine inhibits tumor growth via immune response and serotonergic system. *PLoS One.* 7:2012.

(学会発表)

1. Ishida M, Onishi H, Kawada S, Toyama H, Uchitomi Y : Psychiatric disorders and background characteristics of the bereaved seeking medical counseling at a cancer center. 15th International Psycho-Oncology Society, Netherlands,2013.11.4-8
2. Uchitomi Y:Supporting Communication toward a Goal of Psychosocial Palliative Care in Japan,Sapporo Conference for Palliative and Supportive Care in Cancer 2014,2014.7.11-12
3. Hayashibara C, Inagaki M, Uchitomi Y:Service of occupational therapist in special support school,16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists. Yokohama, Japan 2014.6.18-21.
4. Nagao S, Yokota O, Tanabe Y, Haraguchi T, Ikeda C, Oshima E, Terada S, Uchitomi Y:An autopsy case of the homozygous dentatorubral-pallidoluyisian atrophy,EFNS (European Federation of Neurological Societies) and ENS (European Neurological Society)Joint Congress of European Neurology (第17回 欧州神経学会議),Istanbul, Turkey 2014.5.31-6.3
5. Okahisa Y, Ikeda M, Takaki M, Sakamoto S, Ujike H, Iwata N, Uchitomi Y:Expression profiles as a predictive biomarker of schizophrenia,XXIIND World Congress of Psychiatric Genetics, Copenhagen, Denmark, 2014.10.14
6. Uchitomi Y: Supporting Communication Toward A Goal of Psychosocial Palliative Care in Japan, The 4th Meeting of Asia Pacific Psycho-Oncology, Taipei,Taiwan, 2014.11.22
7. 安藤満代, 長坂剛夫, 寺田整司, 松岡順治, 田端雅弘, 福島倫子, 内富庸介:がん患者への精神的・心理的ケアとしてのライフレビュー・アートセラピーの実行可能性,第27回日本サイコオンコロジー学会総会, 東京 2014.10.3-4
8. 池田智香子, 横田修, 長尾茂人, 石津秀樹, 森定ゆみ, 寺田整司, 中島良彦, 秋山治彦, 内富庸介:運動症状及び非運動症状で初発した皮質基底核変性症における臨床病理学的特徴の比較検討,第55回日本神経病理学会総会, 東京, 2014.6.5-7 ポスター発表
9. 池田智香子, 横田修, 長尾茂人, 石津秀樹, 寺田整司, 須藤浩一郎, 森定ゆみ, 長谷川成人, 内富庸介:嗜銀顆粒病症例における軽度の進行性核上性麻痺病理に関する検討,第55回日本神経病理学会総会, 東京, 2014.6.5-7 ポスター発表
10. 池田智香子, 横田修, 長尾茂人, 石津秀樹, 原口俊, 鎌田正紀, 池田和代, 高田忠幸, 久米広大, 出口一志, 森田光哉, 市原典子, 寺田整司, 内富庸介:FUS 遺伝子変異 (R521S) を有する家族性筋萎縮性側索硬化症の家族例,第29回日本老年精神医学会, 東京, 2014.6.11-12 ポスター発表
11. 池田智香子, 横田修, 長尾茂人, 石津秀樹, 寺田整司, 原口俊, 大島悦子, 長谷川成人, 内富庸介:嗜銀顆粒病における進行性核上性麻痺病理の形成と進展:免疫組織化学的・生化学的検討,第33回日本認知症学会学術集会, 神奈川,2014.11.29-12.1 ポスター発表
12. 池田智香子, 横田修, 長尾茂人, 大島悦子, 寺田整司, 石津秀樹, 内富庸介:多数のRD4陽性RD3陰性神経細胞内封入体を基底核・脳幹・小脳に伴ったPick小体を有するPick病の一部検例,第42回臨床神経病理懇話会, 和歌山,2014.11.15-16 口演
13. 大島義孝, 吉原聡子, 松本洋輔, 内富庸介:性自認と反対の性別の服装を身に着けることへの抵抗感に関する調査 ~あなたがもし、反対の性別の制服を身につけるよう言われたらどうしますか?~,GID学会第16回研究大会, 沖縄 2014.3.22 一般演題・口演
14. 大島義孝, 松本洋輔, 佐藤俊樹, 内富庸介:性別違和が就学状況及び教育歴に与える影響 —岡山大学ジェンダークリニック受診者の調査から—,第110回精神神経学会学術総会, 神奈川 2014.6.28 一般演題・口演
15. 大島義孝, 松本洋輔, 佐藤俊樹, 内富庸介:性別違和が教育歴に与える影響と制服への違和感と与える影響を中心に ~性同一性障害者の低学歴傾向と学校制服への抵抗感との関係についての一考察~,第34回日本性科学学会学術集会, 岡山 2014.10.12 シンポジウム



16. 大宮由紀, 寺田整司, 大島悦子, 池田智香子, 林聡, 進藤亜紀, 長尾茂人, 横田修, 内富庸介:軽度アルツハイマー病患者の介護者の負担,第 33 回日本認知症学会学術集会, 神奈川 2014.11.29-12.1 ポスター発表
17. 岡久祐子, 池田匡志, 酒本真次, 高木学, 氏家寛, 岩田仲生, 内富庸介:統合失調症発症前駆期におけるバイオマーカーの検索,第 36 回日本生物学的精神医学会第 57 回日本神経化学会大会合同年回, 奈良、2014.9.29 ポスター発表
18. 権淳嗣, 高木学, 大島悦子, 吉村文太, 竹之下慎太郎, 千田真友子, 稲垣正俊, 武久康, 来住由樹, 内富庸介:抗 NMDAR 抗体・抗 GluR 抗体陽性の難治性統合失調症患者 3 例に対する免疫療法の効果,第 36 回日本生物学的精神医学会大会 2014.10.1 奈良 口演
19. 酒本真次, 高木学, 岡久祐子, 水木寛, 稲垣正俊, 氏家寛, 池田匡志, 岩田仲生, 内富庸介:統合失調症の疾患感受性遺伝子は、臨床・社会転帰とも関連する,第 36 回日本生物学的精神医学会大会 2014.9.29 奈良 ポスター
20. 酒本真次, 高木学, 岡久祐子, 水木寛, 内富庸介:統合失調症における抑うつ症状の臨床的検討: 予測因子、薬物療法、社会的転帰について,第 24 回日本臨床精神神経薬理学会 愛知 2014.11.20 ポスター発表
21. 千田真友子, 権淳嗣, 大島悦子, 高木学, 内富庸介:統合失調症の月経前増悪に偽閉経療法が有効であった 2 例,第 55 回中国・四国精神神経学会 山口 2014.10.24-25 口演
22. 高木学, 大島悦子, 吉村文太, 権淳嗣, 竹之下慎太郎, 千田真友子, 稲垣正俊, 武久康, 来住由樹, 内富庸介:抗 NMDAR 抗体陽性の難治性統合失調症患者 3 例に対する免疫抑制療法の効果,第 36 回日本生物学的精神医学会大会 奈良 2014.9.29-10.1 シンポジウム
23. 高木学, 耕野敏樹, 吉村文太, 酒本真次, 水木寛, 岡久祐子, 児玉匡史, 来住由樹, 内富庸介:統合失調症に対する、アリピプラゾールの用量による有用度の検討—タイプの違う大学病院、精神科単科救急病院での比較—,第 24 回日本臨床精神神経薬理学会 愛知 2014.11.20 口演
24. 武田直也, 横田修, 本田肇, 寺田整司, 内富庸介:前頭側頭型認知症における臨床診断基準の有用性と注意点,第 34 回日本精神科診断学会, 愛媛, 2014.11.13-14 口演
25. 竹之下慎太郎, 大島悦子, 池田智香子, 林聡, 横田修, 寺田整司, 内富庸介:MIBG 心筋シンチグラフィ集積低下と抑うつ症状を認める高齢患者の臨床的特徴,第 55 回中国・四国精神神経学会, 山口, 2014.10.24-25 ポスター発表
26. 竹之下慎太郎, 大島悦子, 池田智香子, 林聡, 横田修, 寺田整司, 内富庸介:MIBG 心筋シンチグラフィ集積低下と抑うつ症状を認める高齢患者の臨床的特徴,第 33 回日本認知症学会学術集会, 神奈川 2014.11.29-12.1 ポスター発表
27. 長尾茂人, 横田修, 池田智香子, 原口俊, 寺田整司, 内富庸介:歯状核赤核淡蒼球レイ体萎縮症 3 症例での臨床病理検討,第 55 回日本神経病理学会総会, 東京, 2014.6.5-7 ポスター発表
28. 長坂剛夫, 安藤満代, 寺田整司, 松岡順治, 田端雅弘, 福島倫子, 内富庸介:がん患者への精神的・心理的ケアとしてのライフレビュー・アートセラピーの事例報告,第 27 回日本サイコオンコロジー学会総会, 東京, 2014.10.3-4 ポスター発表
29. 水木寛, 高木学, 岡久祐子, 酒本真次, 氏家寛, 内富庸介:Human Rho guanine nucleotide exchange factor 11 (ARHGEF11)の統合失調症患者における遺伝子関連解析と機能解析,第 36 回日本生物学的精神医学会大会 2014.10.1 奈良 ポスター発表
30. 山下龍子, 阿部慶一, 高山恵子, 近藤啓子, 横田修, 佐藤由樹, 則清泰造, 佐藤創一郎, 中島唯夫, 林英樹, 中田謙二, 浅羽敬之, 田中立歩, 田中和芳, 森定ゆみ, 藤田文博, 板倉久和, 岡部伸幸, 内富庸介 (Middle Western Japan – Dementia Study Group):精神科病院において、非経口的な栄養摂取を継続的に受けている患者の現状 (1),第 33 回 日本認知症学会学術集会, 横浜 2014.11.29-12.1

## (書籍)

- 井上真一郎, 内富庸介: 悪性腫瘍に伴う精神症状. 今日の精神疾患治療指針. 樋口, 市川, 神庭, 朝田, 中込(編), 医学書院:505-508, 東京, 2012
- 内富庸介: サイコオンコロジー. 今日の精神疾患治療指針. 樋口, 市川, 神庭, 朝田, 中込(編), 医学書院:909-912, 東京, 2012
- 井上真一郎, 内富庸介: B.サイコオンコロジー. 乳腺腫瘍学. 日本乳癌学会(編), 金原出版株式会社:325-330, 東京, 2012
- 井上真一郎, 内富庸介: ⑥緩和医療におけるせん妄症例B. 病棟・ICUで出会うせん妄に診かた. 八田耕太郎, 岸泰宏(編), 中外医学社:153-167, 東京, 2012
- 小川朝生/内富庸介(編): 精神腫瘍学クリニカルエッセンス. 日本総合病院精神医学会がん対策委員会(監修), 創造出版:1-333, 東京, 2012
- 竹中文良/内富庸介(監訳): がん患者・家族のためのウェルネスガイド. がんと診断されてもあなたらしく生きるために, バレード, 大阪, 2013
- Chaturved S, Uchitomi Y: PSYCHOSOCIAL and PSYCHIATRIC DISORDERS, In “ Clinical Psycho-Oncology”, ed. Grassi L and Riba M, PP. 55-69, Wiley-BLACKWELL, 2012
- Fujimori M, Shirai Y, Uchitomi Y: Communication between Cancer Patients and Oncologists in Japan. In “New Challenges in Communication with Cancer Patients”, ed. A. Surbone, M. Zwitter, M. Rajer, and R. Stiefel, pp301-313, Springer, New York, 2013
- Akechi T, Uchitomi Y : PART12 Neuropsychiatry 69 Depression/anxiety, ed. Bruera E, Higginson IJ, von Gunten CF, Morita T: Textbook of Palliative Medicine and Supportive Care, Second Edition, CRC Press, pp691-702, Florida, 2014

## (知的財産権)

該当なし

## (政策提言 (寄与した指針等))

該当なし

## (その他)

該当なし

## 第1年次

### (雑誌論文)

- 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記載されているもの  
【連携研究者: 明智龍男】
  - Akechi T, Momino K, Iwata H: Brief screening of patients with distressing fear of recurrence in breast cancer survivors Breast Cancer Res Treat, 2015
  - Zenda S, Ota Y, Tachibana H, Ogawa H, Ishii S, Hashiguchi C, Akimoto T, Ohe Y, Uchitomi Y: A prospective picture collection study for a grading atlas of radiation dermatitis for clinical trials in head-and-neck cancer patients. J Radiat res 2016 Feb 4, Epub ahead of print.
- 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記載はないが、関連するもの  
【主任研究者: 内富庸介】
  - Umezawa S, Fujimori M, Matsushima E, Kinoshita H, Uchitomi Y: Cancer. Preferences of advanced cancer patients for communication on anticancer treatment cessation and the transition to palliative care. 2015 Aug 26.
  - Higuchi Y, Uchitomi Y, Fujimori M, Koyama T, Kataoka H, Kitamura Y, Sendo T, Inagaki M: Exploring autistic-like traits relating to empathic attitude and psychological distress in hospital pharmacists. Int J Clin Pharm. 2015 37:1258-66.

3. Wada S, Shimizu K, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Akechi T, Uchida M, Ogawa A, Fujisawa D, Inoue S, Uchitomi Y, Matsushima E: The Association Between Depressive Symptoms and Age in Cancer Patients: A Multicenter Cross-Sectional Study. *J Pain Symptom Manage*. 2015 Aug 20. pii: S0885-3924(15)00406-6. doi: 10.1016/j.jpainsymman.2015.07.011.
4. Akizuki N, Shimizu K, Asai M, Nakano T, Okusaka T, Shimada K, Inoguchi H, Inagaki M, Fujimori M, Akechi T, Uchitomi Y: Prevalence and predictive factors of depression and anxiety in patients with pancreatic cancer: a longitudinal study. *Jpn J Clin Oncol*. 2015 Nov 19. pii: hyv169.
5. Fujisawa D, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Inoue S, Ogawa A, Okuyama T, Akechi T, Mimura M, Shimizu K, Uchitomi Y: Impact of depression on health utility value in cancer patients. *Psychooncology*. 2015 Aug 17. doi: 10.1002/pon.3945.
6. Ishida M, Onishi H, Toyama H, Tsutsumi C, Endo C, Tanahashi I, Takahashi T, Uchitomi Y: Missing memories of death: Dissociative amnesia in the bereaved the day after a cancer death. *Palliat Support Care*. 2015 Jun 8:1-4.

【連携研究者：木澤義之】

1. Kizawa Y: Programs for Continuing Medical Education: B session; 9. Management of cancer pain. *Nihon Naika Gakkai Zasshi*. Japanese. No abstract available. 10;104(3):580-5. 2015 Mar
2. Shirado A, Morita T, Okusaka T, Sakamoto Y, Kizawa Y, Shima Y, Shimizu C: Availability of Palliative Care Units and Outpatient Services in Japan - A Nation-Wide Survey. *Gan To Kagaku Ryoho*. 42(9):1087-9. 2015 Sep.
3. Takase N, Ikegaki J, Nishimura H, Yuasa S, Ito Y, Kizawa Y. Methadone for Patients with Malignant Psoas Syndrome: Case Series of Three Patients. *J Palliat Med*. 18(7):645-52. 2015 Jul
4. Kizawa Y, Morita T, Miyashita M, Shinjo T, Yamagishi A, Suzuki S, Kinoshita H, Shirahige Y, Yamaguchi T, Eguchi K: Improvements in Physicians' Knowledge, Difficulties, and Self-Reported Practice After a Regional Palliative Care Program. *J Pain Symptom Manage*. 50(2):232-40. 2015 Aug
5. Sakashita A, Kishino M, Nakazawa Y, Yotani N, Yamaguchi T, Kizawa Y: How to Manage Hospital-Based Palliative Care Teams Without Full-Time Palliative Care Physicians in Designated Cancer Care Hospitals: A Qualitative Study. *Am J Hosp Palliat Care*. [Epub ahead of print], 2015 Jan
6. Yamamoto R, Kizawa Y, Nakazawa Y, Ohde S, Tetsumi S, Miyashita M: Outcome evaluation of the Palliative care Emphasis program on symptom management and Assessment for Continuous Medical Education: nationwide physician education project for primary palliative care in Japan. *J Palliat Med*. 18(1):45-9. 2015 Jan
7. Nakajima K, Iwamitsu Y, Matsubara M, Oba A, Hirai K, Morita T, Kizawa Y: Psychologists involved in cancer palliative care in Japan: A nationwide survey. *Palliat Support Care*. 13(2):327-34. 2015 Apr.
8. Nakazawa Y, Morita T, Kizawa Y, Miyashita M, Kato M, Yoshida S: Population-Based Quality Indicators for Palliative Care Programs for Cancer Patients in Japan. A Delphi Study *Journal of Pain and Symptom Management* 2015; in press

【連携研究者：朴成和】

1. Takeuchi H, Saeki T, Aiba K, Tamura K, Aogi K, Eguchi K, Okita K, Kagami Y, Tanaka R, Nakagawa K, Fujii H, Boku N, Wada M, Akechi T, Udagawa Y, Okawa Y, Onozawa Y, Sasaki H, Shima Y, Shimoyama N, Takeda M, Nishidate T, Yamamoto A, Ikeda T, Hirata K. Japanese Society of Clinical Oncology clinical practice guidelines 2010 for antiemesis in oncology: executive summary. *Int J Clin Oncol*. 2015 Jun 17. [Epub ahead of print]
2. Tabuse H, Kashiwagi H, Hamauchi S, Tsushima T, Todaka A, Yokota T, Machida N, Yamazaki K, Fukutomi A, Onozawa Y, Mori K, Boku N, Ichinose M, Yasui H. Excessive watering eyes in gastric cancer patients receiving S-1 chemotherapy. *Gastric Cancer*. 2015 Sep 11. [Epub ahead of print]
3. Horie Y, Yamazaki K, Funakoshi Taro, Hamaguchi S, Taniguchi H, Tsushima T, Todaka A, Machida N, Taku K, Fukutomi A, Onozawa Y, Yasui H, Muzukami T, Izawa N, Hirakawa M, Tsuda T, Nakajima T, Boku N. Predictability of antitumor efficacy of cetuximab plus irinotecan based on skin rash severity according to observation period in patients with metastatic colorectal cancer following failure of fluorouracil, irinotecan and oxaliplatin. *Mol Clin Oncol*. 3(5): 1029-1034, 2015

4. Tsuda T, Kyomori C, Mizukami T, Taniyama T, Izawa N, Horie Y, Hirakawa M, Ogura T, Nakajima TE, Tsugawa K, Boku M. Infusion site adverse events in breast cancer patients receiving highly emetic chemotherapy with prophylactic anti-emetic treatment with aprepitant and fosaprepitant: retrospective comparison. *Mol Clin Oncol* in press

【連携研究者：明智龍男】

1. Yonemoto N, Tanaka S, Furukawa TA, Kato T, Mantani A, Ogawa Y, Tajika A, Takeshima N, Hayasaka Y, Shinohara K, Miki K, Inagaki M, Shimodera S, Akechi T, Yamada M, Watanabe N, Guyatt GH: Strategic use of new generation antidepressants for depression: SUN(^\_^)D protocol update and statistical analysis plan *Trials* 16: 459, 2015
2. Watanabe N, Horikoshi M, Yamada M, Shimodera S, Akechi T, Miki K, Inagaki M, Yonemoto N, Imai H, Tajika A, Ogawa Y, Takeshima N, Hayasaka Y, Furukawa TA: Adding smartphone-based cognitive-behavior therapy to pharmacotherapy for major depression (FLATT project): study protocol for a randomized controlled trial *Trials* 16: 293, 2015
3. Wada S, Shimizu K, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Akechi T, Uchida M, Ogawa A, Fujisawa D, Inoue S, Uchitomi Y, Matsushima E: The Association Between Depressive Symptoms and Age in Cancer Patients: A Multicenter Cross-Sectional Study *J Pain Symptom Manage*, 2015
4. Takeuchi H, Saeki T, Aiba K, Tamura K, Aogi K, Eguchi K, Okita K, Kagami Y, Tanaka R, Nakagawa K, Fujii H, Boku N, Wada M, Akechi T, Udagawa Y, Okawa Y, Onozawa Y, Sasaki H, Shima Y, Shimoyama N, Takeda M, Nishidate T, Yamamoto A, Ikeda T, Hirata K: Japanese Society of Clinical Oncology clinical practice guidelines 2010 for antiemesis in oncology: executive summary *Int J Clin Oncol*, 2015
5. Sugano K, Okuyama T, Iida S, Komatsu H, Ishida T, Kusumoto S, Uchida M, Nakaguchi T, Kubota Y, Ito Y, Takahashi K, Akechi T: Medical Decision-Making Incapacity among Newly Diagnosed Older Patients with Hematological Malignancy Receiving First Line Chemotherapy: A Cross-Sectional Study of Patients and Physicians *PLoS One* 10: e0136163, 2015
6. Shimizu K, Nakaya N, Saito-Nakaya K, Akechi T, Ogawa A, Fujisawa D, Sone T, Yoshiuchi K, Goto K, Iwasaki M, Tsugane S, Uchitomi Y: Personality traits and coping styles explain anxiety in lung cancer patients to a greater extent than other factors *Jpn J Clin Oncol* 45: 456-463, 2015
7. Kubota Y, Okuyama T, Uchida M, Umezawa S, Nakaguchi T, Sugano K, Ito Y, Katsuki F, Nakano Y, Nishiyama T, Katayama Y, Akechi T: Effectiveness of a psycho-oncology training program for oncology nurses: a randomized controlled trial *Psychooncology*, 2015
8. Kondo M, Kiyomizu K, Goto F, Kitahara T, Imai T, Hashimoto M, Shimogori H, Ikezono T, Nakayama M, Watanabe N, Akechi T: Analysis of vestibular-balance symptoms according to symptom duration: dimensionality of the Vertigo Symptom Scale-short form *Health Qual Life Outcomes* 13: 4, 2015
9. Ito Y, Okuyama T, Ito Y, Kamei M, Nakaguchi T, Sugano K, Kubota Y, Sakamoto N, Saitoh S, Akechi T: Good death for children with cancer: a qualitative study *Jpn J Clin Oncol* 45: 349-355, 2015
10. Fujisawa D, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Inoue S, Ogawa A, Okuyama T, Akechi T, Mimura M, Shimizu K, Uchitomi Y: Impact of depression on health utility value in cancer patients *Psychooncology*, 2015
11. Akechi T, Uchida M, Nakaguchi T, Okuyama T, Sakamoto N, Toyama T, Yamashita H: Difference of patient's perceived need in breast cancer patients after diagnosis *Jpn J Clin Oncol* 45: 75-80, 2015
12. Akechi T, Momino K, Miyashita M, Sakamoto N, Yamashita H, Toyama T: Anxiety in disease free breast cancer patients might be alleviated by provision of psychological support, not of information *Jpn J Clin Oncol* 45: 929-933, 2015

【連携研究者：藤澤大介】

1. Fujisawa D\*, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Inoue S, Ogawa A, Okuyama T, Akechi T, Mimura M, Shimizu K, Uchitomi Y. Impact of depression on health utility value in cancer patients. *Psycho-oncology* 2015 Aug 17. doi: 10.1002/pon.3945. [EPub ahead of Print]
2. Wada S, Shimizu K, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Akechi T, Uchida M, Ogawa A, Fujisawa D, Inoue S, Uchitomi Y, Matsushima E. The Association between Depressive Symptoms and Age in Cancer Patients: A Multicenter Cross-Sectional Study. *J Pain Symptom Management* 2015;50(6):768-77.

3. Fujisawa D\*, Hagiwara N\*. Cancer stigma and its health consequences. *Current Breast Cancer Reports* 2015 [Epub ahead of Print] (\*equal contribution)
4. Fujisawa D\*, Temel JS, Traeger L, Greer JA, Lennes IT, Mimura M, Pirl WF. Psychological factors at early stage of treatment as predictors of receiving of chemotherapy at the end of life. *Psycho-oncology* 2015 May 8. doi: 10.1002/pon.3840. [Epub ahead of print]
5. Shimizu K, Nakaya N, Saito-Nakaya K, Akechi T, Ogawa A, Fujisawa D, Sone T, Yoshiuchi K, Goto K, Iwasaki M, Tsugane S, Uchitomi Y. Personality traits and coping styles explain anxiety in lung cancer patients to a greater extent than other factors. *Jpn J Clin Oncol.* 2015; 45(5): 456-63.
6. Pirl WF, Greer JA, Irwin K, Lennes I, Jackson VA, Park ER, Fujisawa D, Wright AA, Temel JS. Processes of discontinuing chemotherapy for metastatic non-small cell lung cancer at the end of life. *Journal of Oncology Practice, J Oncol Pract.* 2015 May;11(3):e405-12. doi: 10.1200/JOP.2014.002428.
7. Umezawa S, Fujisawa D\*, Fujimori M, Ogawa A, Matsuhima E, Miyashita M. Prevalence, associated factors and source of support concerning supportive care needs among Japanese cancer survivors – a web-based survey. *Psycho-oncology* 24: 635–642, 2015
8. Tabuse H, Kashiwagi H, Hamauchi S, Tsushima T, Todaka A, Yokota T, Machida N, Yamazaki K, Fukutomi A, Onozawa Y, Mori K, Boku N, Ichinose M, Yasui H. Excessive watering eyes in gastric cancer patients receiving S-1 chemotherapy. *Gastric Cancer.* 2015 Sep 11. [Epub ahead of print]
9. Horie Y, Yamazaki K, Funakoshi Taro, Hamaguchi S, Taniguchi H, Tsushima T, Todaka A, Machida N, Taku K, Fukutomi A, Onozawa Y, Yasui H, Muzukami T, Izawa N, Hirakawa M, Tsuda T, Nakajima T, Boku N. Predictability of antitumor efficacy of cetuximab plus irinotecan based on skin rash severity according to observation period in patients with metastatic colorectal cancer following failure of fluorouracil, irinotecan and oxaliplatin. *Mol Clin Oncol.* 3(5): 1029-1034, 2015

【連携研究者：松岡豊】

1. Sarris J, Logan AC, Akbaraly TN, Amming GP, Balanza-Martinez V, Freeman MP, Hibbeln J, Matsuoka Y, Mischoulon D, Mizoue T, Nanri A, Nishi D, Parletta N, Ramsey D, Rucklidge JJ, Sanchez-Villegas A, Scholey A, Su K-P, Jacka FN: International Society for Nutritional Psychiatry Research consensus position statement: nutritional medicine in modern psychiatry. *World Psychiatry* 2015;14(3):370-371
2. Matsuoka Y, Nishi D, Hamazaki K, Yonemoto N, Matsumura K, Noguchi H, Hashimoto K, Hamazaki T: Docosahexaenoic acid for selective prevention of posttraumatic stress disorder among severely injured patients: A randomized, placebo-controlled trial. *J Clin Psychiatry* 2015;76(8):e1015–e1022
3. Nishi D, Hashimoto K, Noguchi H, Hamazaki K, Hamazaki T, Matsuoka Y: Glutamatergic system abnormalities in posttraumatic stress disorder. *Psychopharmacology* 2015 Dec; 232(23):4261-8.
4. Su K-P, Matsuoka Y, Pae C-U: Omega-3 polyunsaturated fatty acids in prevention of mood and anxiety disorders. *Clinical Psychopharmacology and Neuroscience* 2015;13(2)129-137
5. Matsuoka Y, Nishi D, Tanima Y, Itakura M, Kojima M, Hamazaki K, Noguchi H, Hamazaki T: Serum pro-BDNF/BDNF as a treatment biomarker for response to docosahexaenoic acid in traumatized people vulnerable to developing psychological distress: A randomized controlled trial. *Translational Psychiatry* 2015; 5; e596
6. Nishi D, Hashimoto K, Noguchi H, Kim Y, Matsuoka Y: Serum oxytocin, posttraumatic coping and C-reactive protein in motor vehicle accident survivors by gender. *Neuropsychobiology* 2015;71:196-201
7. Yosikawa E, Nishi D, Matsuoka Y: Fish consumption and resilience to depression in Japanese company workers: a cross-sectional study. *Lipids in Health and Disease* 2015, 14:51.
8. Watanabe N, Furukawa TA, Horikoshi M, Katsuki F, Narisawa T, Kumachi M, Oe Y, Shinmei I, Noguchi H, Hamazaki K, Matsuoka Y: A mindfulness-based stress management program and treatment with omega-3 fatty acids to maintain healthy mental state in hospital nurses –Happy Nurse Project: study protocol for a randomized controlled trial. *Trials* 2015, 16:36.
9. Sarris J, Logan AC, Akbaraly TN, Amming GP, Balanza-Martinez V, Freeman MP, Hibbeln J, Matsuoka Y, Mischoulon D, Mizoue T, Nanri A, Nishi D, Ramsey D, Rucklidge JJ, Sanchez-Villegas A, Scholey A, Su K-P, Jacka FN: Nutritional medicine as mainstream in psychiatry. *Lancet Psychiatry* 2015;2:271-274

【連携研究者：宮下光令】

1. Amano K, Maeda I, Morita T, Okajima Y, Hama T, Aoyama M, Kizawa Y, Tsuneto S, Shima Y, Miyashita M. Eating-related distress and need for nutritional support of families of advanced cancer patients: A nationwide survey of bereaved family members. *Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle*. (in press)
2. Igarashi A, Miyashita M, Morita T, Akizuki N, Akiyama M, Shirahige Y, Sato K, Yamamoto-Mitani N. Association between bereaved families' sense of security and their experience of death in cancer patients: Cross-sectional population-based study. *Journal of Pain and Symptom Management*.(in press)
3. Nakazawa Y, Kato M, Yoshida S, Miyashita M, Morita T, Kizawa Y. Population-based quality indicators for palliative care programs for cancer patients in Japan: A delphi Study. *J Pain Symptom Manage*. (in press)
4. Miyashita M, Wada M, Morita T, Ishida M, Onishi H, Tsuneto S, Shima Y. Development and validation of the Comprehensive Quality of Life Outcome (CoQoLo) inventory for advanced cancer patients. *BMJ Support Palliat Care*. (2015 Oct 22 [Epub ahead of print])
5. Kobayakawa M, Okamura H, Yamagishi A, Morita T, Kawagoe S, Shimizu M, Ozawa T, An E, Tsuneto S, Shima Y, Miyashita M. Family caregivers require mental health specialists for end-of-life psychosocial problems at home: a nation-wide survey in Japan. *Psycho-Oncol*. (in press)
6. Akechi T, Momino K, Miyashita M, Sakamoto N, Yamashita H, Toyama T. Anxiety in disease free breast cancer patients might be alleviated by provision of psychological support, not of information. *Jpn J Clin Oncol*. 2015; 45(10):929-33
7. Suzuki M, Deno M, Tashiro M, Asakage T, Takahashi K, Saito K, Busujima Y, Mori Y, Saito H, Ichikawa Y, Miyashita M. Anxiety and depression in patients who underwent surgery for head and neck cancer in Japan. *Palliat Support Care*. (in press)
8. Akiyama M, Hirai K, Kakebayashi T, Morita T, Miyashita M, Takeuchi A, Yamagishi A, Kinoshita H, Shirahige Y, Eguchi K. The effects of community-wide dissemination of information on perceptions of palliative care, knowledge about opioids, and sense of security among cancer patients, their families, and the general public. *Support Care Cancer*. 2015; 24(1):347-56
9. Kinoshita S, Miyashita M, Morita T, Sato K, Miyazaki T, Shoji A, Chiba Y, Tsuneto S, Shima Y. Changes in perceptions of opioids before and after admission to palliative care units in Japan: Results of a nationwide bereaved family member survey. *Am J Hosp Palliat Med*. (2015 Apr 9 [Epub ahead of print])
10. Kinoshita S, Miyashita M, Morita T, Sato K, Shoji A, Chiba Y, Miyazaki T, Tsuneto S, Shima Y. Japanese Bereaved Family Members' Perspectives of Palliative Care Units and Palliative Care: J-HOPE Study Results. *Am J Hosp Palliat Med*. (2015 Apr 7 [Epub ahead of print])
11. Kizawa Y, Morita T, Miyashita M, Shinjo T, Yamagishi A, Suzuki S, Kinoshita H, Shirahige Y, Yamaguchi T, Eguchi K. Improvements in physicians' knowledge, difficulties, and self-reported practice after a regional palliative care program. *J Pain Symptom Manage*. 2015; 50(2):232-40
12. Miyashita M, Morita T, Sato K, Tsuneto S, Shima Y. A nationwide survey of quality of end-of-life cancer care in designated cancer centers, inpatient palliative care units and home hospices in Japan: the J-HOPE study. *J Pain Symptom Manage*. 2015; 50(1):38-47
13. Miyashita M, Wada M, Morita T, Ishida M, Onishi H, Sasaki Y, Narabayashi M, Wada T, Matsubara M, Takigawa C, Shinjo T, Suga A, Inoue S, Ikenaga M, Kohara H, Tsuneto S, Shima Y. The independent validation of Japanese version of EORTC QLQ-C15-PAL for advanced cancer patients. *J Pain Symptom Manage*. 2015; 49(5):953-9
14. Tanimukai H, Adachi H, Hirai K, Matsui T, Shimizu M, Miyashita M, Tsuneto S, Shima Y. Association between depressive symptoms and changes in sleep condition in the grieving process. *Support Care Cancer*. 2015; 23(7):1925-31
15. Umezawa S, Fujisawa D, Fujimori M, Ogawa A, Matsushima E, Miyashita M. Prevalence, associated factors and source of support concerning supportive care needs among Japanese cancer survivors. *Psychooncology*. 2015; ;24(6):635-42
16. Oyama Y, Fukahori H, Miyashita M, Narama M, Kono A, Atogami F, Kashiwagi M, Okaya K, Takamizawa E, Yoshizawa T. Cross-sectional online survey of research productivity in young Japanese nursing faculty. *Jpn J Nurs Sci*. 2015; 12(3):198-207

17. Sekine R, Ogata M, Uchiyama I, Miyakoshi K, Uruma M, Miyashita M, Morita T. Changes in and associations among functional status and perceived-quality of life of metastatic/locally advanced cancer patients receiving rehabilitation for general disability. *Am J Hosp Palliat Med.* 2015; 32(7):695-702
18. Yoshida S, Miyashita M, Hirai K, Morita T, Akizuki N, Akiyama M, Shirahige Y, Eguchi K. Strategies for development of palliative care from the perspectives of general population and healthcare professionals: A Japanese Outreach Palliative Care Trial of Integrated Regional Model study. *Am J Hosp Palliat Med.* 2015; 32(6): 604-10.
19. Kuroda Y, Iwamitsu Y, Miyashita M, Hirai K, Kato D, Yamashita H, Kawakami S, Nakano K, Nakagawa K. Views of life and death with regard to end-of-life care preferences among cancer patients receiving cancer treatment at a Japanese university hospital. *Palliat Support Care.*
20. Mikoshiba N, Yamamoto-Mitani N, Sato K, Asaoka Y, Ohki T, Ohata M, Miyashita M. Validation of the Japanese Version of HFS-14, a Disease-Specific Quality of Life Scale for Patients Suffering from Hand-Foot Syndrome. *Support Care Cancer.* 2015; 23(9): 2739-45.
21. Yamamoto R, Kizawa Y, Nakazawa Y, Ohde S, Tetsumi S, Miyashita M. Outcome Evaluation of the Palliative Care Emphasis Program on Symptom Management and Assessment for Continuous Medical Education: Nationwide Physician Education Project for Primary Palliative Care in Japan. *J Palliat Med.* 2015; 18(1):45-9
22. Kinoshita H, Maeda I, Morita T, Miyashita M, Yamagishi A, Shirahige Y, Takebayashi T, Yamaguchi T, Igarashi A, Eguchi K. Place of Death and the Differences in Patient Quality of Death and Dying and Caregiver Burden. *J Clin Oncol.* 2015; 33(4):357-63
23. Yamagishi A, Morita T, Kawagoe S, Shimizu M, Ozawa T, An E, Kobayakawa M, Tsuneto S, Shima Y, Miyashita M. Length of home hospice care, perceived timing of referrals, quality of care, and quality of life in terminally ill cancer patients who died at home. *Support Care Cancer.* 2015; 23(2):491-9
24. Miyashita M, Kawakami S, Kato D, Yamashita H, Igaki H, Nakano K, Kuroda Y, Nakagawa K. The importance of good death components among cancer patients, the general population, oncologists and oncology nurses in Japan: Patients prefer "fighting against cancer." *Support Care Cancer.* 2015; 23(1): 103-10.
25. Shinjo T, Morita T, Hirai K, Miyashita M, Shimizu M, Tsuneto S, Shima Y. Why people accept opioids: role of general attitudes toward drugs, experience as a bereaved family, information from medical professionals, and personal beliefs regarding good death. *J Pain Symptom Manage.* 2015; 49(1):45-54
26. 清水恵, 佐藤一樹, 加藤雅志, 藤澤大介, 森田達也, 宮下光令. 受療行動調査における療養生活の質の評価のための項目のがん患者における内容的妥当性と結果の解釈可能性に関する基礎的検討. *Palliat Care Res.* 2015; 10(4):223-237
27. 山脇道晴, 森田達也, 清原恵美, 清水恵, 恒藤暁, 志真泰夫, 宮下光令. ホスピス・緩和ケア病棟で行われているご遺体へのケアに関する遺族の体験と評価 自由記述における内容分析. *Palliat Care Res.* 2015; 10(3):209-216
28. 山脇道晴, 森田達也, 清原恵美, 清水恵, 恒藤暁, 志真泰夫, 宮下光令. ご遺体へのケアを看護師が家族と一緒にすることについての家族の体験と評価. *がん看護.* 2015; 20(6): 670-675
29. 佐藤悠子, 宮下光令, 藤森研司, 中谷純, 藤本容子, 栗原誠, 佐藤一樹, 石岡千加史. 東北大学病院における5大がん入院患者の終末期医療の実態: DPCデータを用いた方法論の確立. *Palliat Care Res.* 2015; 10(3): 177-85.
30. 大園康文, 石井容子, 宮下光令. 訪問看護師が認識する終末期がん患者の在宅療養継続の障害. *日がん看会誌.* 2015; 29(1): 44-53.
31. 岸野恵, 木澤義之, 佐藤悠子, 宮下光令, 森田達也, 細川豊史. 大学病院入院中のがん患者の突出痛の頻度に関する予備調査. *Palliat Care Res.* 2012; 5:39-44
32. 佐藤一樹, 橋本孝太郎, 内海純子, 出水明, 藤本肇, 森井正智, 宮下光令, 永沢謙, 鈴木雅夫. 在宅緩和ケアを受けた終末期がん患者の在宅診療中止の関連要因. *Palliat Care Res.* 2015; 10(2) : 116-23
33. 山脇道晴, 森田達也, 清原恵美, 清水恵, 恒藤暁, 志真泰夫, 宮下光令. ホスピス・緩和ケア病棟におけるご遺体へのケアに関する遺族の評価と評価に関する要因. *Palliat Care Res.* 2015; 10(2) : 101-07
34. 菅野雄介, 佐藤一樹, 早川陽子, 瀧田好恵, 我妻崇史, 千葉友子, 本田和子, 柴田弘子, 山内かず子, 高橋信, 井上彰, 宮下光令. 一般病棟で看取りのケアのクリニカル・パス *Liverpool Care Pathway* 日本語版を導入するための課題: 大学病院での使用経験から. *Palliat Care Res.* 2015; 10(1): 318-23
35. 橋本孝太郎, 佐藤一樹, 内海純子, 出水明, 藤本肇, 森井正智, 佐々木琴美, 宮下光令, 鈴木雅夫. 在宅緩和ケアを受けた終末期がん患者の実態調査. *Palliat Care Res.* 2015; 10(1): 153-61

36. 角甲純, 關本翌子, 小川朝生, 宮下光令. 終末期がん患者の呼吸困難に対する送風の有効性についてのケースシリーズ研究. *Palliat Care Res.* 2015; 10(1): 147-52
37. 山岸暁美, 森田達也, 川越正平, 清水恵, 小澤竹俊, 安恵美, 小早川誠, 恒藤暁, 志真泰夫, 宮下光令. 終末期がん患者に在宅療養移行をすすめるときの望ましいコミュニケーション: 多施設遺族研究. *がんと化学療法*, 2015

#### (学会発表)

1. Effect of Communication skills training program for oncologist based on patient preferences for communication when receiving bad news, MASCC 2015, 24-28 Jun. 2015, Copenhagen
2. Supporting Communication toward a Goal of Psychosocial Palliative Care in Japan, 9th NCC International Symposium, 9-10 Jun. 2015, Seoul
3. 内富庸介: 死にゆく患者/遺族に対する精神療法的接近、第11回日本精神神経学会学術総会、2015.6 大阪
4. 内富庸介: がん患者に悪い知らせを伝える際のコミュニケーション、日本ペインクリニック学会第49回大会、2015.7、大阪
5. 内富庸介: がん医療における支持療法の標準治療確立に向けて、第45回日本神経精神薬理学会・第37回日本生物学的精神医学会。2015.09, 東京
6. 内富庸介: チーム医療で支えるがん患者の気持ちのつらさ、第28回日本サイコオンコロジー学会総会、2015.9、広島
7. 内富庸介: がん患者とのコミュニケーション: 抗がん剤とオピオイドの開始、第9回日本緩和医療薬学会年会、2015.10. 横浜
8. 内富庸介: がんに向き合う時の心構え。ピンクリボンシンポジウム 2015. 2015.10, 東京
9. 内富庸介: 緩和医療におけるストレスマネジメント～薬剤師だって「死」に対するストレスは生じる!～、第9回日本緩和医療学会薬学会年会、2015.10、横浜
10. 内富庸介: 緩和ケア中の患者さんのこころのケアを考える、第9回日本緩和医療学会薬学会年会、2015.10、横浜
11. がん患者のQOL向上を実現するコミュニケーション、第55回日本心身医学会九州地方会ランチョンセミナー、2016.1、福岡

#### (書籍)

【主任研究者: 内富庸介】

12. 樋口裕二, 稲垣正俊, 内富庸介: がん診療に必要な倫理的な事項. 一般社団法人日本病態栄養学会. *がん栄養療法ガイドブック*. メディカルレビュー社. 24-30, 2015.01
13. 内富庸介: 緩和ケアの普及啓発・教育・研究～医師に対するコミュニケーション技術研修～  
ペインクリニック 655-661, 2015.10

#### (知的財産権)

該当なし

#### (政策提言 (寄与した指針等))

該当なし

#### (その他)

該当なし



## 第2年次

(雑誌論文)

- ・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記載されているもの

【主任研究者】 内富庸介

1. Zenda S, Ota Y, Tachibana H, Ogawa H, Ishii S, Hashiguchi C, Akimoto T, Ohe Y, **Uchitomi Y**. A prospective picture collection study for a grading atlas of radiation dermatitis for clinical trials in head-and-neck cancer patients. *J Radiat Res.* 2016 ; 57(3): 301-6.

- ・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記載はないが、関連するもの

【主任研究者】 内富庸介

1. Fujimori M, Akechi T, **Uchitomi Y**. Factors associated with patient preferences for communication of bad news. *Palliat Support Care.* 2016. [Epub ahead of print]
2. Inoguchi H, Shimizu K, Shimoda H, Yoshiuchi K, Akechi T, Uchida M, Ogawa A, Fujisawa D, Inoue S, **Uchitomi Y**. Screening for untreated depression in cancer patients: a Japanese experience. *Jpn J Clin Oncol.* 2016. [Epub ahead of print]
3. Fujiwara M, Inagaki M, Higuchi Y, **Uchitomi Y**, Terada S, Kodama M, Kishi Y, Yamada N. An Open-Label Feasibility Trial of Repetitive ranscranial Magnetic Stimulation for Treatment-Resistant Major Depressive Episodes. *Acta Med Okayama.* 2016; 70(4): 307-11.
4. Higuchi Y, Inagaki M, Koyama T, Kitamura Y, Sendo T, Fujimori M, **Uchitomi Y**, Yamada N. A cross-sectional study of psychological distress, burnout, and the associated risk factors in hospital pharmacists in Japan. *BMC Public Health.* 2016; 16: 534.
5. Sakamoto S, Takaki M, Okahisa Y, Mizuki Y, Inagaki M, Ujike H, Mitsuhashi T, Takao S, Ikeda M, **Uchitomi Y**, Iwata N Yamada N. Individual risk alleles of susceptibility to schizophrenia are associated with poor clinical and social outcomes. *J Hum Genet.* 2016; 61(4): 329-34.
6. Akizuki N, Shimizu K, Asai M, Nakano T, Okusaka T, Shimada K, Inoguchi H, Inagaki M, Fujimori M, Akechi T, **Uchitomi Y**. Prevalence and predictive factors of depression and anxiety in patients with pancreatic cancer: a longitudinal study. *Jpn J Clin Oncol.* 2016; 46(1): 71-7.

【連携研究者】 木澤義之

1. Morita T, Naito AS, Aoyama M, Ogawa A, Aizawa I, Morooka R, Kawahara M, **Kizawa Y**, Shima Y, Tsuneto S, Miyashita M. Nationwide Japanese Survey About Deathbed Visions: "My Deceased Mother Took Me to Heaven". *J Pain Symptom Manage.* 2016 ; 52(5): 646-54.e5.
2. Kakutani K, Sakai Y, Maeno K, Takada T, Yurube T, Kurakawa T, Miyazaki S, Terashima Y, Ito M, Hara H, Kawamoto T, Ejima Y, Sakashita A, Kiyota N, **Kizawa Y**, Sasaki R, Akisue T, Minami H, Kuroda R, Kurosaka M, Nishida K. Prospective Cohort Study of Performance Status and Activities of Daily Living After Surgery for Spinal Metastasis. *Clin Spine Surg.* 2016. [Epub ahead of print]
3. Morita T, Imai K, Yokomichi N, Mori M, **Kizawa Y**, Tsuneto S. Continuous Deep Sedation: A Proposal for Performing More Rigorous Empirical Research. *J Pain Symptom Manage.* 2016. pii: S0885-3924(16)30362-1.
4. Mori M, Nishi T, Nozato J, Matsumoto Y, Miyamoto S, **Kizawa Y**, Morita T. Unmet Learning Needs of Physicians in Specialty Training in Palliative Care: A Japanese Nationwide Study. *J Palliat Med.* 2016; 19(10): 1074-9.
5. Okuyama T, **Kizawa Y**, Morita T, Kinoshita H, Uchida M, Shimada A, Naito AS, Akechi T. Current Status of Distress Screening in Designated Cancer Hospitals: A Cross-Sectional Nationwide Survey in Japan. *J Natl Compr Canc Netw.* 2016; 14(9): 1098-104.
6. Sakashita A, Kishino M, Nakazawa Y, Yotani N, Yamaguchi T, **Kizawa Y**. How to Manage Hospital-Based Palliative Care Teams Without Full-Time Palliative Care Physicians in Designated Cancer Care Hospitals: A Qualitative Study. *Am J Hosp Palliat Care.* 2016; 33(6): 520-6.
7. Aoyama M, Morita T, **Kizawa Y**, Tsuneto S, Shima Y, Miyashita M. The Japan HOspice and Palliative Care Evaluation Study 3: Study Design, Characteristics of Participants and Participating Institutions, and Response Rates. *Am J Hosp Palliat Care.* 2016. pii: 1049909116646336. [Epub ahead of print]

8. Nakazawa Y, Kato M, Yoshida S, Miyashita M, Morita T, **Kizawa Y**. Population-Based Quality Indicators for Palliative Care Programs for Cancer Patients in Japan: A Delphi Study. *J Pain Symptom Manage*. 2016; 51(4): 652-61.
9. **Kizawa Y**, Yamaguchi T, Yotani N. [Advance Care Planning in Cancer Care]. *Gan To Kagaku Ryoho*. 2016; 43(3): 277-80.
10. Amano K, Maeda I, Morita T, Okajima Y, Hama T, Aoyama M, **Kizawa Y**, Tsuneto S, Shima Y, Miyashita M. Eating-related distress and need for nutritional support of families of advanced cancer patients: a nationwide survey of bereaved family members. *J Cachexia Sarcopenia Muscle*. 2016. doi: 10.1002/jcsm.12102. [Epub ahead of print]

【連携研究者】 朴成和

1. Tabuse H, Kashiwagi H, Hamauchi S, Tsushima T, Todaka A, Yokota T, Machida N, Yamazaki K, Fukutomi A, Onozawa Y, Mori K, **Boku N**, Ichinose M, Yasui H. Excessive watering eyes in gastric cancer patients receiving S-1 chemotherapy. *Gastric Cancer*. 2016; 19(3): 894-901.
2. Tsuda T, Kyomori C, Mizukami T, Taniyama T, Izawa N, Horie Y, Hirakawa M, Ogura T, Nakajima TE, Tsugawa K, **Boku N**. Infusion site adverse events in breast cancer patients receiving highly emetic chemotherapy with prophylactic anti-emetic treatment with aprepitant and fosaprepitant: A retrospective comparison. *Mol Clin Oncol*. 2016; 4(4): 603-6.
3. Shida D, Hamaguchi T, Ochiai H, Tsukamoto S, Takashima A, **Boku N**, Kanemitsu Y. Prognostic Impact of Palliative Primary Tumor Resection for Unresectable Stage 4 Colorectal Cancer: Using a Propensity Score Analysis. *Ann Surg Oncol*. 2016; 23(11): 3602-8.

【連携研究者】 明智龍男

1. **Akechi T**, Aiki S, Sugano K, Uchida M, Yamada A, Komatsu H, Ishida T, Kusumoto S, Iida S, Okuyama T. Does cognitive decline decrease health utility value in older adult patients with cancer? *Psychogeriatrics*. 2016. [Epub ahead of print]
2. **Akechi T**, Momino K, Iwata H. Brief screening of breast cancer survivors with distressing fear of recurrence *Breast Cancer Res Treat*. 2015; 153(2): 475-6.
3. Akizuki N, Shimizu K, Asai M, Nakano T, Okusaka T, Shimada K, Inoguchi H, Inagaki M, Fujimori M, **Akechi T**, Uchitomi Y. Prevalence and predictive factors of depression and anxiety in patients with pancreatic cancer: a longitudinal study. *Jpn J Clin Oncol*. 2016; 46: 71-7.
4. Fujimori M, **Akechi T**, Uchitomi Y. Factors associated with patient preferences for communication of bad news *Palliat Support Care*. 2016: 1-8.
5. Fujisawa D, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Inoue S, Ogawa A, Okuyama T, **Akechi T**, Mimura M, Shimizu K, Uchitomi Y. Impact of depression on health utility value in cancer patients. *Psychooncology*. 2016; 25: 491-5.
6. Inoguchi H, Shimizu K, Shimoda H, Yoshiuchi K, **Akechi T**, Uchida M, Ogawa A, Fujisawa D, Inoue S, Uchitomi Y. Screening for untreated depression in cancer patients: a Japanese experience. *Jpn J Clin Oncol*, 2016. [Epub ahead of print]
7. Ishida K, Ando S, Komatsu H, Kinoshita S, Mori Y, **Akechi T**. Psychological burden on patients with cancer of unknown primary: from onset of symptoms to initial treatment. *Jpn J Clin Oncol*. 2016; 46: 652-60.
8. Kubota Y, Okuyama T, Uchida M, Umezawa S, Nakaguchi T, Sugano K, Ito Y, Katsuki F, Nakano Y, Nishiyama T, Katayama Y, **Akechi T**. Effectiveness of a psycho-oncology training program for oncology nurses: a randomized controlled trial. *Psychooncology*. 2016; 25: 712-8.
9. Okuyama T, Kizawa Y, Morita T, Kinoshita H, Uchida M, Shimada A, Naito AS, **Akechi T**. Current Status of Distress Screening in Designated Cancer Hospitals: A Cross-Sectional Nationwide Survey in Japan *Journal of the National Comprehensive Cancer Network : JNCCN*. 2016; 14: 1098-104.
10. Onishi H, Ishida M, Toyama H, Tanahashi I, Ikebuchi K, Taji Y, Fujiwara K, **Akechi T**. Early detection and successful treatment of Wernicke encephalopathy in a patient with advanced carcinoma of the external genitalia during chemotherapy. *Palliat Support Care*. 2016; 14: 302-6.

11. Sugiyama Y, Sakamoto N, Ohsawa M, Onizuka M, Ishida K, Murata Y, Iio A, Sugano K, Maeno K, Takeyama H, **Akechi T**, Kimura K. A Retrospective Study on the Effectiveness of Switching to Oral Methadone for Relieving Severe Cancer-Related Neuropathic Pain and Limiting Adjuvant Analgesic Use in Japan. *J Palliat Med.* 2016; 19(10): 1051-9.
12. Yamauchi T, Inagaki M, Yonemoto N, Iwasaki M, **Akechi T**, Sawada N, Iso H, Noda M, Tsugane S: History of diabetes and risk of suicide and accidental death in Japan: The Japan Public Health Centre-based Prospective Study, 1990-2012 *Diabetes & metabolism.* 2016; 42: 184-91.

【連携研究者】 藤澤大介

1. Travado L, Breitbart W, Grassi L, **Fujisawa D**, Patenaude A, Baider L, Connor S, Fingere M. 2015 President's Plenary International Psychooncology Society: psychosocial care as a human rights issue - challenges and opportunities. *Psychooncology.* 2016; doi: 10.1002/pon.4209
2. Grassi L, **Fujisawa D**, Odyio P, Asuzu C, Ashley L, on behalf of the IPOS Federation of Psycho-Oncology Societies' co-authors. Equity and inequality in psychosocial cancer care: A report from the International Federation of Psycho-Oncology Societies. *Psychooncology* 2016; doi: 10.1002/pon.4228. [Epub ahead of print]

【連携研究者】 松岡豊

1. Nishi D, Su K-P, Usuda K, Chiang Y-J, Guu T-W, Hamazaki K, Nakaya N, Sone T, Sano Y, Tachibana Y, Ito H, Isaka K, Hashimoto K, Hamazaki T, **Matsuoka YJ**. The synchronized trial on expectant mothers with depressive symptoms by omega-3 PUFAs (SYNCHRO): Study protocol for a randomized controlled trial. *BMC Psychiatry.* 2016; 16: 321.
2. Yoshikawa E, Nishi D, **Matsuoka Y**. Association between frequency of fried food consumption and resilience to depression in Japanese company workers: A cross-sectional study. *Lipids in Health and Disease.* 2016; 15: 156.
3. Tanisho Y, Shigemura J, Kubota K, Tanigawa T, Bromet EJ, Takahashi S, **Matsuoka Y**, Nishi D, Nagamine M, Harada N, Tanichi M, Takahashi Y, Shimizu K, Nomura S, Yoshino A, Fukushima NEWS Project Collaborators: The longitudinal mental health impact of Fukushima nuclear disaster exposures and public criticism among power plant workers: the Fukushima NEWS Project study. *Psychological Medicine.* 2016; 18: 1-9.
4. **Matsuoka YJ**, Hamazaki K, Nishi D, Hamazaki T. Change in blood levels of eicosapentaenoic acid and posttraumatic stress symptom: A secondary analysis of data from a placebo-controlled trial of omega-3 supplements *J Affective Disorders.* 2016; 205: 289-91.
5. Yoshikawa E, Nishi D, **Matsuoka YJ**. Association between regular physical exercise and depressive symptoms mediated through social support and resilience in Japanese company workers: A cross-sectional study. *BMC Public Health.* 2016; 16: 553.
6. Matsumura K, Noguchi H, Nishi D, Hamazaki K, Hamazaki T, **Matsuoka YJ**. Effects of omega-3 polyunsaturated fatty acids on psychophysiological symptoms of post-traumatic stress disorder in accident survivors: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial. *J Affective Disorders.* 2016 May 30. pii: S0165-0327(16)30239-7.
7. Nishi D, Kawashima Y, Noguchi H, Usuki M, Yamashita A, Koido Y, **Matsuoka YJ**. Resilience, posttraumatic growth and work engagement among health care professionals after the Great East Japan Earthquake: A 4-year prospective follow-up study. *J Occupational Health.* 2016; 58(4): 347-53.
8. Usuda K, Nishi D, Makino M, Tachimori H, **Matsuoka Y**, Sano Y, Konishi T, Takeshima T. Prevalence and related factors of common mental disorders during pregnancy in Japan: a cross-sectional study. *Biopsychosocial Medicine.* 2016; 10: 17.
9. Kawashima Y, Nishi D, Noguchi H, Usuki M, Yamashita A, Koido Y, Okubo Y, **Matsuoka Y**. Post-traumatic Stress Symptoms and Burnout Among Medical Rescue Workers 4 Years after the Great East Japan Earthquake: A Longitudinal Study. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness.* 2016; 18: 1-6.
10. Nishi D, Su K-P, Usuda K, Chiang Y-J, Guu T-W, Hamazaki K, Nakaya N, Sone T, Sano Y, Ito H, Isaka K, Hashimoto K, Hamazaki T and **Matsuoka Y**. Omega-3 fatty acid supplementation for expectant mothers with depressive symptoms in Japan and Taiwan: an open-label trial. *Psychiatry Clinical Neurosciences.* 2016; 70(6): 253-4.
11. Shimada H, Nishi D, Usuda K, **Matsuoka Y**, Ito H, Isaka K: Factors associated with depressive symptoms during mid-pregnancy at a Japanese University Hospital. *Jpn J Gen Hosp Psychiatry.* 2016; 28: 29-34.

【連携研究者】 宮下光令

1. Maeda I, **Miyashita M**, Yamagishi A, Kinoshita H, Shirahige Y, Izumi N, Yamaguchi T, Igarashi M, Kato M, Morita T. Changes in relatives' perspectives on quality of death, quality of care, pain relief, and caregiving burden before and after a region-based palliative care intervention. *J Pain Symptom Manage*. 2016. [in press]
2. Higashiguchi T, Ikegaki J, Sobue K, Tamura Y, Nakajima N, Futamura A, **Miyashita M**, Mori N, Inui A, Ohta K, Hosokawa T. Guidelines for parenteral fluid management for terminal cancer patients. *Jpn J Clin Oncol*. 2016. [in press]
3. Sato K, **Miyashita M**, Morita T, Tsuneto S, Shima Y. End-of-life medical treatments in the last two weeks of life in palliative care units in Japan, 2005-2006: A nationwide retrospective cohort survey. *J Palliat Med*. 2016. [in press]
4. Mikoshiha N, Yamamoto-Mitani N, Ohki T, Asaoka Y, Yamaguchi H, Obi S, Sato K, Koike K, **Miyashita M**. A simple home-based self-monitoring tool for early detection of hand-foot syndrome in cancer patients. *Jpn J Clin Oncol*. 2016. [in press]
5. Morita T, Naito SA, Aoyama M, Ogawa A, Aizawa I, Morooka R, Kawahara M, Kizawa Y, Shima Y, Tsuneto S, **Miyashita M**. Nationwide Japanese survey about deathbed visions: "My deceased mother took me to heaven". *J Pain Symptom Manage*. 2016. [in press]
6. Mikoshiha N, Yamamoto-Mitani N, Sato K, Yaju Y, **Miyashita M**. Relationship between self-care and hand foot syndrome specific quality of life in cancer patients. *Open journal of nursing*. 2016. [in press]
7. Shirai Y, **Miyashita M**, Kawa M, Motokura T, Sano F, Fukuda T, Oshimi K, Kazuma K. Evaluation of care for leukemia and lymphoma patients during their last hospitalization from the perspective of the bereaved family. *Leukemia Research*. 2016; 47: 93-9.
8. Amano K, Maeda I, Morita T, Okajima Y, Hama T, Aoyama M, Kizawa Y, Tsuneto S, Shima Y, **Miyashita M**. Eating-related distress and need for nutritional support of families of advanced cancer patients: a nationwide survey of bereaved family members. *Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle*. 2016. [in press]
9. Aoyama M, Morita T, Kizawa Y, Tsuneto S, Shima Y, **Miyashita M**. The Japan HOSPICE and Palliative Care Evaluation Study 3: Study design, characteristics of participants and participating institutions, and response rates. *Am J Hosp Palliat Med*. 2016. [in press]
10. **Miyashita M**, Wada M, Morita T, Ishida M, Onishi H, Tsuneto S, Shima Y. Development and validation of the Comprehensive Quality of Life Outcome (CoQoLo) inventory for advanced cancer patients. *BMJ Support Palliat Care*. 2016. [in press]
11. Kobayakawa M, Okamura H, Yamagishi A, Morita T, Kawagoe S, Shimizu M, Ozawa T, An E, Tsuneto S, Shima Y, **Miyashita M**. Family caregivers require mental health specialists for end-of-life psychosocial problems at home: a nation-wide survey in Japan. *Psychooncology*. 2016. [in press]
12. Mikan F, Wada M, Yamada M, Takahashi A, Onishi H, Ishida M, Sato K, Shimizu S, Matoba M, **Miyashita M**. The association between pain and quality of life for cancer patients in an outpatient clinic, an inpatient oncology ward and inpatient palliative care units. *Am J Hosp Palliat Med*. 2016. [in press]
13. Igarashi A, **Miyashita M**, Morita T, Akizuki N, Akiyama M, Shirahige Y, Sato K, Yamamoto-Mitani N. Association between bereaved families' sense of security and their experience of death in cancer patients: Cross-sectional population-based study. *Journal of Pain and Symptom Management*. 2016. [in press]
14. Shimizu M, Nishimura M, Ishii Y, Kuramochi M, Kakuta N, **Miyashita M**. Development and Validation of Scales for Attitudes, Self-Reported Practices, Difficulties and Knowledge among Home Care Nurses Providing Palliative Care. *Eur J Oncol Nurs*. 2016; 22: 8-12.
15. Nakazawa Y, Kato M, Yoshida S, **Miyashita M**, Morita T, Kizawa Y. Population-based quality indicators for palliative care programs for cancer patients in Japan: A delphi Study. *J Pain Symptom Manage*. 2016; 51(4): 652-61.
16. Okamoto Y, Tsuneto S, Morita T, Takagi T, Shimizu M, **Miyashita M**, Uejima E, Shima Y. Desirable Information of Opioids for Terminal Cancer Patients' Family: the Bereaved Family Members' Experiences and Recommendations. *Am J Hosp Palliat Med*. 2016. [in press]
17. Suzuki M, Deno M, Tashiro M, Asakage T, Takahashi K, Saito K, Busujima Y, Mori Y, Saito H, Ichikawa Y, **Miyashita M**. Anxiety and depression in patients who underwent surgery for head and neck cancer in Japan. *Palliat Support Care*. 2016. [in press]

18. Kinoshita S, **Miyashita M**, Morita T, Sato K, Miyazaki T, Shoji A, Chiba Y, Tsuneto S, Shima Y. Changes in perceptions of opioids before and after admission to palliative care units in Japan: Results of a nationwide bereaved family member survey. Am J Hosp Palliat Med. 2016; 33(5): 431-8.
19. Kinoshita S, **Miyashita M**, Morita T, Sato K, Shoji A, Chiba Y, Miyazaki T, Tsuneto S, Shima Y. Japanese Bereaved Family Members' Perspectives of Palliative Care Units and Palliative Care: J-HOPE Study Results. Am J Hosp Palliat Med. 2016; 33(5): 425-30.

(学会発表)

1. Breaking bad news and related communication, The 5th Asia Pacific Psycho-Oncology Network Meeting, 2016.11, Singapore.
2. 現場で意思決定を支えるためのコツ、第21回日本緩和医療学会学術大会、2016.6、京都
3. J-SUPPORT : Japan Supportive, Palliative and Psychosocial Oncology Group の設立、第14回日本臨床腫瘍学会、2016.7、神戸
4. がん医療におけるコミュニケーション・スキル、第54回日本癌治療学会学術集会学術セミナー、2016.10、横浜
5. 「SHARE-CST(コミュニケーション技術研究)の10年」、日本緩和医療学会 平成28年度厚生労働省委託事業緩和ケア10周年記念イベント、2017.2、東京
6. がん医療におけるコミュニケーションスキルーがん化学療法を始める時、日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017、2017.3、新潟

(書籍)

該当なし

(知的財産権)

該当なし

(政策提言 (寄与した指針等))

【連携研究者】 明智龍男

1. 日本癌治療学会 制吐薬適正使用ガイドライン委員会協力委員
2. 日本緩和医療学会 鎮静ガイドライン改訂委員会委員

(その他)

該当なし

**第3年次**

(雑誌論文)

- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記載されているもの

該当なし

- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記載はないが、関連するもの

【主任研究者】 内富庸介

1. Fujiwara M, Inagaki M, Nakaya N, Fujimori M, Higuchi Y, Kakeda K, **Uchitomi Y**, Yamada N. Association between serious psychological distress and nonparticipation in cancer screening and the modifying effect of socioeconomic status: Analysis of anonymized data from a national cross-sectional survey in Japan. N.Cancer. 2017. [Epub ahead of print]
2. Fujiwara M, Inagaki M, Nakaya N, Fujimori M, Higuchi Y, Hayashibara C, So R, Kakeda K, Kodama M, **Uchitomi Y**, Yamada N. Cancer screening participation in schizophrenic outpatients and the influence of their functional disability on the screening rate: A cross-sectional study in Japan. Psychiatry Clin Neurosci. 2017. [Epub ahead of print]

3. Higuchi Y, Inagaki M, Koyama T, Kitamura Y, Sendo T, Fujimori M, Kataoka H, Hayashibara C, **Uchitomi Y**, Yamada N. Emotional Intelligence and its Effect on Pharmacists and Pharmacy Students with Autistic-like Traits. *Am J Pharm Educ.* 2017; 81(4): 74.
4. Kako J, Morita T, Yamaguchi T, Sekimoto A, Kobayashi M, Kinoshita H, Ogawa A, Zenda S, **Uchitomi Y**, Inoguchi H, Matsushima E. Evaluation of the Appropriate Washout Period Following Fan Therapy for Dyspnea in Patients With Advanced Cancer: A Pilot Study. *Am J Hosp Palliat Care.* 2017. [Epub ahead of print]
5. Fujimori M, Akechi T, **Uchitomi Y**. Factors associated with patient preferences for communication of bad news. *Palliat Support Care.* 2017; 15(3): 328-35.

【連携研究者】 木澤義之

1. Takenouchi S, **Kizawa Y**, et al. Empowering Nurses Through Translating the End-of-Life Nursing Education Consortium. *Journal of Hospice and Palliative Nursing.* 2017; 19(6): 539-49.
2. Yamashita R, Kizawa Y, et al. Unfinished Business in Families of Terminally Ill with Cancer Patients. *J Pain Symptom Manage.* 2017. [Epub ahead of print]
3. Mori M, **Kizawa Y**, et al. Talking about death with terminally-ill cancer patients: what contributes to the regret of bereaved family members? *J Pain Symptom Manage.* 2017. [Epub ahead of print]
4. Yokoya S, **Kizawa Y**, et al. Practice and Perceived Importance of Advance Care Planning and Difficulties in Providing Palliative Care in Geriatric Health Service Facilities in Japan : A Nationwide Survey. *Palliat Med.* 2017 Jan; 1-9.
5. Hamano J, **Kizawa Y**, et al. Trust in Physicians, Continuity and Coordination of Care, and Quality of Death in Patients with Advanced Cancer. *J Palliat Med.* 2017; 20(11): 1259-9.
6. Hirooka K, **Kizawa Y**, et al. End-of-life experiences of family caregivers of deceased patients with cancer: A nation-wide survey. *Psychooncology.* 2017. [Epub ahead of print]
7. Momo K, **Kizawa Y**, et al. Assessment of indomethacin oral spray for the treatment of oropharyngeal mucositis-induced pain during anticancer therapy. *Support Care Cancer.* 2017. [Epub ahead of print]
8. Otani H, **Kizawa Y**, et al. Meaningful Communication Before Death, but Not Present at the Time of Death Itself, is Associated With Better Outcomes on Measures of Depression and Complicated Grief Among Bereaved Family Members of Cancer Patients. *J Pain Symptom Manage.* 2017; 54(3): 273-9.
9. Yamaguchi T, **Kizawa Y**, et al. Effects of End-of-Life Discussions on the Mental Health of Bereaved Family Members and Quality of Patient Death and Care. *J Pain Symptom Manage.* 2017; 54(1): 17-26.
10. Hatano Y, **Kizawa Y**, et al. The relationship between cancer patients' place of death and bereaved caregivers' mental health status. *Psychooncology.* 2017; 26(11): 1959-64.
11. Kanoh A, **Kizawa Y**, et al. End-of-life care and discussions in Japanese geriatric health service facilities: A nationwide survey of managing directors' viewpoints. *Am J Hosp Palliat Med.* 2017.
12. Miura H, **Kizawa Y**, et al. Benefits of the Japanese version of the advance care planning facilitators education program. *Geriatr Gerontol Int.* 2017; 350-2.
13. Yamamoto S, **Kizawa Y**, et al. Decision Making Regarding the Place of End-of-Life Cancer Care: The Burden on Bereaved Families and Related Factors. *J Pain Symptom Manage.* 2017; 53(5): 862-70.
14. Yotani N, **Kizawa Y**, et al. Differences between Pediatricians and Internists in Advance Care Planning for Adolescents with Cancer. *J Pediatr.* 2017; 182: 356-62.
15. Morita T, **Kizawa Y**, et al. Continuous Deep Sedation: A Proposal for Performing More Rigorous Empirical Research. *J Pain Symptom Manage.* 2017; 53(1): 146-52.
16. Aoyama M, **Kizawa Y**, et al. Characteristics of Participants and Participating Institutions, and Response Rates. *Am J Hosp Palliat Care.* 2017; 34(7): 654-64.
17. Miyazaki S, **Kizawa Y**, et al. Quality of life and cost-utility of surgical treatment for patients with spinal metastases: prospective cohort study. *International Orthopaedics.* 2017.
18. Yotani N, **Kizawa Y**, et al. Advance care planning for adolescent patients with life-threatening neurological conditions: a survey of Japanese paediatric neurologists. *BMJ Pediatrics Open.* 2017. [Epub ahead of print]
19. Sakashita A, **Kizawa Y**, et al. Which research questions are important for the bereaved families of palliative care cancer patients? A nationwide survey. *J Pain Symptom Manage.* 2017. [Epub ahead of print]
20. Shinjo T, **Kizawa Y**, et al. Japanese physicians' experiences of terminally ill patients voluntarily stopping eating and drinking: a national survey. *BMH Support Palliat Care.* 2017. [Epub ahead of print]

21. Kobayakawa M, **Kizawa Y**, et al. Psychological and psychiatric symptoms of terminally ill patients with cancer and their family caregivers in the home-care setting: A nation-wide survey from the perspective of bereaved family members in Japan. *J Psychosom Res.* 2017; 103: 127-32.
22. Mori M, **Kizawa Y**, et al. "What I Did for My Loved One Is More Important than Whether We Talked About Death": A Nationwide Survey of Bereaved Family Members. *J Palliat Med.* 2017. [Epub ahead of print]
23. Hamano J, **Kizawa Y**, et al. A nationwide survey about palliative sedation involving Japanese palliative care specialists: Intentions and key factors used to determine sedation as proportionally appropriate. *J Pain Symptom Manage.* 2017. [Epub ahead of print]
24. Kakutani K, **Kizawa Y**, et al. Prospective Cohort Study of Performance Status and Activities of Daily Living After Surgery for Spinal Metastasis. *Clin Spine Surg.* 2017; 30(8): E1026-32.
25. Nakazawa Y, **Kizawa Y**, et al. Changes in nurses' knowledge, difficulties, and self-reported practices toward palliative care for cancer patients in Japan: an analysis of two nationwide representative surveys in 2008 and 2015. *J Pain Symptom Manage.* 2017. [Epub ahead of print]
26. Matsuoka H, **Kizawa Y**, et al. Study protocol for a multi-institutional, randomised, double-blinded, placebo-controlled phase III trial investigating additive efficacy of duloxetine for neuropathic cancer pain refractory to opioids and gabapentinoids: the DIRECT study. *BMJ Open.* 2017; 7(8): e017280
27. Miyazaki S, **Kizawa Y**, et al. Quality of life and cost-utility of surgical treatment for patients with spinal metastases: prospective cohort study. *Int Orthop.* 2017; 41(6):1265-71.
28. Amano K, **Kizawa Y**, et al. Eating-related distress and need for nutritional support of families of advanced cancer patients: a nationwide survey of bereaved family members. *J Cachexia Sarcopenia Muscle.* 2016; 7(5): 527-34.
29. 五十嵐尚子, **木澤義之**他. 遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する多施設遺族調査における結果のフィードバックの活用状況. *Palliat Care Res.* 2017; 12(1): 131-9.
30. 青山真帆, **木澤義之**他. 宗教的背景のある施設において患者の望ましい死の達成度が高い理由—全国のホスピス・緩和ケア病棟 127 施設の遺族調査の結果から—. *Palliat Care Res.* 2017; 12(2): 211-20.

【連携研究者】 朴成和

1. Katakami N, Oda K, Tauchi K, Nakata K, Shinozaki K, Yokota T, Suzuki Y, Narabayashi M, **Boku N**. Phase IIb, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Study of Naldemedine for the Treatment of Opioid-Induced Constipation in Patients With Cancer. *J Clin Oncol.* 2017; 35(17): 1921-8.
2. Hagiwara Y, Ohashi Y, Okusaka T, Ueno H, Ioka T, **Boku N**, Egawa S, Hatori T, Furuse J, Mizumoto K, Ohkawa S, Yamaguchi T, Yamao K, Funakoshi A, Cheng AL, Kihara K, Sato A, Tanaka M. Health-related quality of life in a randomised phase III study of gemcitabine plus S-1, S-1 alone and gemcitabine alone for locally advanced or metastatic pancreatic cancer: GEST study. *ESMO Open.* 2017; Mar 15; 2(1): e000151.
3. Katakami N, Harada T, Murata T, Shinozaki K, Tsutsumi M, Yokota T, Arai M, Tada Y, Narabayashi M, **Boku N**. Randomized Phase III and Extension Studies of Naldemedine in Patients With Opioid-Induced Constipation and Cancer. *J Clin Oncol.* 2017 Oct 2. [Epub ahead of print]
4. Kang YK, **Boku N**, Satoh T, Ryu NH, Chao Y, Kato K, Chung HC, Chen JS, Muro K, Kang, WK, Yeh KH, Yoshikawa T, Oh SC, Bai LY, Tamura T, Lee KW, Hamamoto Y, Kim JG, Chin K, Oh DY, Minashi K, Cho JY, Tsuda M, Chen LT. Nivolumab in patients with advanced gastric or gastro-oesophageal junction cancer refractory to, or intolerant of, at least two previous chemotherapy regimens (ONO-4538-12, ATTRACTION-2): a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial. *Lancet.* 2017 Oct 2. [Epub ahead of print]

【連携研究者】 明智龍男

1. Onishi H, Ishida M, Tanahashi I, Takahashi T, Taji Y, Ikebuchi K, Furuya D, **Akechi T**. Subclinical thiamine deficiency in patients with abdominal cancer. *Palliat Support Care.* [in press]
2. Aiki S, Okuyama T, Sugano K, Kubota Y, Imai F, Nishioka M, Ito Y, Iida S, Komatsu H, Ishida T, Kusumoto S, **Akechi T**. Cognitive dysfunction among newly diagnosed older patients with hematological malignancy: frequency, clinical indicators, and predictors *Jpn J Clin Oncol.* [in press] (Corresponding author)

3. Sakamoto N, Takiguchi S, Komatsu H, Okuyama T, Nakaguchi T, Kubota Y, Ito Y, Sugano K, Wada M, **Akechi T**. Supportive care needs and psychological distress and/or quality of life in ambulatory advanced colorectal cancer patients receiving chemotherapy: a cross-sectional study. *Jpn J Clin Oncol*. 2017; 1-5. (Corresponding author)
4. Onishi H, Ishida M, Tanahashi I, Takahashi T, Taji Y, Ikebuchi K, Furuya D, **Akechi T**. Wernicke encephalopathy without delirium in patients with cancer. *Palliat Support Care*. 2017; 1-4.
5. Okuyama T, **Akechi T**, Mackenzie L, Furukawa TA. Psychotherapy for depression among advanced, incurable cancer patients: A systematic review and meta-analysis. *Cancer Treat Rev*. 2017; 56: 16-27.
6. Momino K, Mitsunori M, Yamashita H, Toyama T, Sugiura H, Yoshimoto N, Hirai K, **Akechi T**. Collaborative care intervention for the perceived care needs of women with breast cancer undergoing adjuvant therapy after surgery: a feasibility study. *Jpn J Clin Oncol*. 2017; 47: 213-20. (Corresponding author)
7. **Akechi T**, Suzuki M, Hashimoto N, Yamada T, Yamada A, Nakaaki S. Different pharmacological responses in late-life depression with subsequent dementia: a case supporting the reserve threshold theory. *Psychogeriatrics*, 2017.
8. **Akechi T**, Aiki S, Sugano K, Uchida M, Yamada A, Komatsu H, Ishida T, Kusumoto S, Iida S, Okuyama T. Does cognitive decline decrease health utility value in older adult patients with cancer? *Psychogeriatrics*. 2017; 17: 149-54.

【連携研究者】 藤澤大介

1. **Fujisawa D**. Depression in Cancer Care. *Keio Journal of Medicine*. 2017; Oct 14. doi: 10.2302/kjm.2017-0010-IR. [Epub ahead of print]
2. Shimizu M, **Fujisawa D**, Kurihara M, Sato K, Morita T, Kato M, Miyashita M. Validation Study for the Brief Measure of Quality of Life and Quality of Care. *Am J Hosp Palliat Care*. 2017; 34(7): 622-31. doi: 10.1177/1049909117693576. [Epub ahead of print]
3. 藤澤大介. 人生の意味に焦点をあてた精神療法. *精神科*. 2017; 31(4), 290-4.
4. 藤澤大介. がん患者さんのうつと不安—薬物療法と非薬物療法の使い分け. *ストレス科学*. 2017; 31(4), 297-311.

【連携研究者】 松岡豊

1. Susukida R, Nishi D, Kawashima Y, Koido Y, Mojtabei R, **Matsuoka YJ**. Generalizability of Findings from a Randomized Controlled Trial of Fish Oil Supplementation for Attenuating Posttraumatic Stress Symptoms among Rescue Workers in Japan. *Psychother Psychosom*. 2017. [in press]
2. Noguchi H, Nishi D, Matsumura K, Hamazaki K, Hamazaki T, **Matsuoka Y**. Limited effect of omega-3 fatty acids on the quality of life in survivors of traumatic injury: A randomized, placebo-controlled trial. *Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids*. 2017; December 127:1-5. doi.org/10.1016/j.plefa.2017.09.018
3. Matsumura K, Noguchi H, Nishi D, Hamazaki K, Hamazaki T, **Matsuoka YJ**. Effects of omega-3 polyunsaturated fatty acids on psychophysiological symptoms of post-traumatic stress disorder in accident survivors: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial. *J Affect Disord*. 2017; 224: 27-31.
4. **Matsuoka YJ**, Sawada N, Mimura M, Shikimoto R, Nozaki S, Hamazaki K, Uchitomi Y, Tsugane S. Dietary fish, n-3 polyunsaturated fatty acid consumption, and depression risk in Japan: a population-based prospective cohort study. *Transl Psychiatry*. 2017; 7: e1242.
5. Nishi D, Su KP, Usuda K, Chang PC, Chiang YJ, Guu TW, Hamazaki K, Nakaya N, Sone T, Hashimoto K, Hamazaki T, **Matsuoka YJ**. Differences between Japan and Taiwan in the treatment of pregnant women with depressive symptoms by omega-3 fatty acids: an open label pilot study. *Nutr Neurosci*. 2017; Jul 28:1-9.
6. Wada S, Inoguchi H, Hirayama T, **Matsuoka YJ**, Uchitomi Y, Ochiai H, Tsukamoto S, Shida D, Kanemitsu Y, Shimizu K\*: Yokukansan for the Treatment of Preoperative Anxiety and Postoperative Delirium in Colorectal Cancer Patients: A Retrospective Study. *Jpn J Clin Oncol*, 2017; Jun 7:1-5.
7. Yamashita A, Noguchi H, Hamazaki K, Sato Y, Narisawa T, Kawashima Y, Usuki M, Nishi D, Yoshimasu H, Horikawa N, **Matsuoka YJ**. Serum polyunsaturated fatty acids and risk of psychiatric disorder after acute coronary syndrome: a prospective cohort study. *J Affect Disord*. 2017; 218: 306-12.



【連携研究者】宮下光令

1. 佐藤一樹, 芹澤未有, 宮下光令, 木下寛也. 遺族による終末期高齢患者の介護体験評価: 認知症併存の有無での比較と関連要因. *Palliat Care Res.* 2017; 12 (1): 159-68. DOI: <https://doi.org/10.2512/jspm.12.159>.
2. 佐藤一樹, 菊地亜里沙, 宮下光令, 木下寛也. 終末期高齢者の望ましい死の達成の遺族による評価: 認知症併存の有無での比較と関連要因. *Palliat Care Res.* 2017;12 (1): 149-58. DOI: <https://doi.org/10.2512/jspm.12.149>.

(学会発表)

1. Yosuke Uchitomi. Depression in early state disease. ESMO Asia 2017 Nov. Singapore
2. 内富庸介: エビデンスを作る臨床試験体制の構築. 第11回日本緩和医療薬学会(シンポジウム). 札幌コンベンションセンター. 2017年6月
3. 内富庸介: がん患者のQOL向上を実現するコミュニケーション. 第11回日本緩和医療薬学会(メディカルセミナー). 札幌コンベンションセンター. 2017年6月
4. 内富庸介: 思いやりと共感を持って, がん患者に深刻な病状告知を行うためのスキルを育てる. 第2回がん緩和ケア国際学会(シンポジウム). 札幌パークホテル. 2017年6月
5. 内富庸介: 緩和医学, 支持療法, 精神腫瘍学の現状と展望. 第40回日本神経科学会(教育講演). 幕張メッセ. 2017年7月
6. 内富庸介: がん医療のエッセンス コミュニケーションスキルかアートか. 第15回日本臨床腫瘍学会(教育講演). 神戸コンベンションセンター. 2017年7月
7. 内富庸介: がん支持療法の現状と展望. 第76回日本癌学会(シンポジウム). パシフィコ横浜. 2017年9月
8. 内富庸介: 我が国のがん対策における緩和ケアとこころのケア: 第三次がん対策推進基本計画案をふまえて. 第30回日本サイコオンコロジー学会(セッション). きゅりあん. 2017年10月
9. 内富庸介: がん患者・家族との良好なコミュニケーションのために. 第55回日本癌治療学会(講演). パシフィコ横浜. 2017年10月

(書籍)

【連携研究者】木澤義之

1. 木澤義之他: 小児緩和ケアの現状と展望. In: 志真泰夫, 恒藤 暁, 細川豊史, 宮下光令, 山崎章郎 (eds) ホスピス緩和ケア白書 2017. 青海社, 東京, pp. 34-37, 2017
2. 井上順一朗, 木澤義之他: 緩和医療の実際. In: 井上順一, 神津 玲. 理学療法 MOOK21 がんの理学療法. 三輪書店, 東京, pp. 93-98, 2017
3. 木澤義之他: 緩和医療ピットフォールファイル. In: 森田達也, 濱口恵子 (eds) 緩和医療ピットフォールファイル. 南江堂, 東京, pp. 6-78, 2017
4. 木澤義之他: 緩和医療と終末期(エンド・オブ・ライフ)ケア. In: 矢崎義雄 (eds) 内科学. 朝倉書店, 東京, pp. 186-188, 2017
5. 木澤義之他: 人生の最終段階を見据えたアドバンス・ケア・プランニング. In: 長江弘子(eds) 「生きる」を考える. 日本看護協会出版会, 東京, pp. 186-196, 2017
6. 木澤義之他: わが国の政策と診療報酬の動向. In: 木澤義之, 矢野和美(eds) 心疾患 COPD 神経疾患の緩和ケア. 青海社, 東京, pp. 8-11, 2017
7. 木澤義之他: エンド・オブ・ライフケア. In: 小川朝生, 木澤義之, 山本 亮(eds) 新版 がん緩和ケアガイドブック. 青海社, 東京, pp. 98-105, 2017
8. 木澤義之他: 患者と家族の意向が異なるとき. In: 木澤義之, 山本 亮, 浜野 淳(eds) いのちの終わりにどうかかわるか. 医学書院, 東京, pp. 68-73, 2017

【連携研究者】 明智龍男

1. **明智龍男**: 「本人が不安を感じています」は本当？. In: 森田達也., 濱口恵子 (eds) 苦い経験から学ぶ！緩和医療ピットフォールファイル. 南江堂, 東京, pp. 136-137, 2017
2. **明智龍男**: リスペリドン少量で傾眠と誤嚥性肺炎発生. In: 森田達也., 濱口恵子 (eds) 苦い経験から学ぶ！緩和医療ピットフォールファイル. 南江堂, 東京, pp. 72, 2017
3. **明智龍男**: 適応障害. In: 鈴木直., 宮城悦子., 藤村正樹., 東口高志 (eds) 婦人科がん領域における緩和医療の実践. 金原出版株式会社, 東京, pp. 158-165, 2017
4. **明智龍男**: せん妄、手術後精神障害 (ICU) 症候群. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 (eds) 今日の治療指針. 医学書院, 東京, pp. 993, 2017

【連携研究者】 朴成和

1. **朴成和**: 日本癌治療学会、小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン、2017、金原出版

(知的財産権)

該当なし

(政策提言 (寄与した指針等))

【連携研究者】 明智龍男

日本癌治療学会編「制吐薬適正使用ガイドライン」 協力委員

(その他)

該当なし